キングジムCSRレポート・会社案内 2010

キングジム
CSRレポート・会社案内
2010

KING JIM

株式会社キングジム
東京都千代田区東神田二丁目10番18号　〒101-0031

この報告書は、FSC認証紙、VOC（揮発性有機化合物）成分ゼロの100%植物性インキ、
印刷工程で有害廃液を出さない水なし印刷を採用しています。

色覚の個人差を問わず、多くの方に見やすいように配慮して作成し、
NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構の認証を取得しています。

発行:2010年10月

キングジムのブランド

ブランドはユーザーとメーカーを結ぶ信頼の架け橋です。

キングファイル

デジタルメモ「ポメラ」
pomera

TEPRA

スキットマン®

Toffy®

デジタル名刺ホルダー「ピットレック」
PITREC

卓上メモ「マメモ」
mamemo

RELET
電子マネービュアー「リレット」

vion
イオン発生式空気清浄機「ビオン」

Lezaface

KING JIM

「キングジム」の社名は、
「事務の王様」の意味が込められています。
四角い「スクエア・パターン」は、「キングファイル」の
背表紙デザインを表しています。

編集方針 お読みいただくにあたって

キングジムグループは、2006年度から「CSR報告書」の発行を開始し、キングジムグループが行っているCSR（Corporate Social Responsibility=企業の社会的責任）にかかわる活動を、ご報告してまいりました。

2008年度からは、主要財務データ・国内外ネットワークなどを掲載した「会社案内」と統合し、名称を「CSRレポート・会社案内」として発行しています。また、読者の皆様がより読みやすいよう、カラーユニバーサルデザインに配慮し、制作しています。

「CSRレポート」部分の編纂に関しては、以下のガイドラインの項目を参考に、網羅的に配慮しつつ厳正に選定し、当社グループの状況を記載しております。

■「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン第3版」（GRI）
■「社会的責任（CSR）経営自己評価シート」
（経済同友会 2009年）
■「環境報告ガイドライン 2007年版」環境省
■「環境会計ガイドライン 2005年版」環境省

対象期間

記述の対象期間は、2010年度（2009年6月21日～2010年6月20日）の内容を中心としております。ただし、ご理解を深めていただく必要に応じて、この期間の前後の内容についても記述しております。

対象範囲

キングジムグループ全体に関する内容を主としておりますが、株式会社キングジムに限定した記述に関しては、「キングジム」と明示し、「キングジムグループ」と区別しております。

当レポートの内容は、キングジムのホームページでも公開しております。
http://www.kingjim.co.jp/

本書の内容についてのお問合せ先

株式会社キングジム 広報部
mail webmaster@kingjim.co.jp
TEL 03-3864-7073
FAX 03-3864-9258

CONTENTS

02 会社概要・事業拠点
03 キングジム・グループ
04 TOP MESSAGE
06 経営理念と行動指針

特集
08 「キングファイル」で見る キングジムのCSR

イノベーション&デザイン
13 近年の新製品開発について 代表的な製品をご紹介します。

顧客に対する価値の提供
19 ユーザー視点に立ったサービスの提供
20 情報活用の啓発
21 環境意識の啓発
22 顧客とのコミュニケーション

環境経営の推進と環境配慮製品への取組み
25 環境憲章の制定
26 環境マネジメント
27 温暖化防止
28 廃棄物対策
29 海外工場における環境への取組み
30 マテリアルフロー
31 環境配慮設計
32 環境を意識した商品の取組み

ステークホルダーとともに ― 従業員
35 人材育成のための研修
36 働きやすい職場環境の実現
37 いきいきと働ける職場づくり

ステークホルダーとともに ― 社会・株主・顧客
38 社会貢献活動の推進
40 株主
40 顧客

マネジメント
41 マネジメント
42 コーポレート・ガバナンス

43 第三者コメント
44 企業データ編

会社概要・事業拠点

会社概要（2010年6月20日現在）

商号	株式会社キングジム　KING JIM CO.,LTD.
代表取締役社長	宮本 彰
創業	昭和2年（1927年）4月
設立	昭和23年（1948年）8月
資本金	19億7,869万円
株式	東京証券取引所 市場第一部　証券コード7962
従業員数	437人（連結:1,715人）
所在地	東京都千代田区東神田二丁目10番18号
事業所数	支店・営業所・駐在員事務所…10　工場（国内）…1　物流拠点…3　ショップ・サービス拠点…2

事業拠点

支店・営業所・駐在員事務所

札幌営業所
〒062-0933 札幌市豊平区平岸三条三丁目1番27号
TEL.011-811-0593　FAX.011-822-7695

仙台営業所
〒984-0002 仙台市若林区卸町東二丁目1番23号
TEL.022-236-4110　FAX.022-236-2020

さいたま営業所
〒331-0812 さいたま市北区宮原町一丁目490番地
TEL.048-651-0198　FAX.048-651-8599

東京支店
〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目6番9号
アルテビル東神田II
TEL.03-3864-0505　FAX.03-3864-0949

名古屋支店
〒461-0004 名古屋市東区葵一丁目7番3号
TEL.052-935-6861　FAX.052-937-9214

大阪支店
〒542-0081 大阪市中央区南船場一丁目12番29号
TEL.06-6268-0401　FAX.06-6268-0410

広島営業所
〒730-0847 広島市中区舟入南三丁目13番6号
TEL.082-291-8458　FAX.082-294-9272

福岡支店
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南三丁目2番20号
博多ハッコウビル1F
TEL.092-471-6251　FAX.092-473-0430

香港駐在員事務所
Room1408,Beverly House,93-107Lockhart Road,Wanchai,Hong Kong
（香港Wanchai）

深圳（シンセン）駐在員事務所
Room No.703,Coastal City West tower,
Hai De San Dao,Nanshan District,Shenzhen,P.R.China
ZIP CODE:518054

工場・物流センター

松戸工場
〒271-0064 松戸市上本郷228番地
TEL.047-361-1221　FAX.047-361-5768

松戸ロジスティクスセンター
〒271-0064 松戸市上本郷228番地
TEL.047-361-1220　FAX.047-361-6994

東京物流センター
〒134-0086 東京都江戸川区臨海町四丁目2番1号
TEL.03-3878-6060　FAX.03-3878-6070

大阪物流センター
〒553-0007 大阪市福島区大開四丁目1番18号
TEL.06-6466-6030　FAX.06-6466-6031

ショップ・サービス拠点

［雑貨アンテナショップ］
Toffy SHIODOME（トフィー シオドメ）
〒105-8310 東京都港区東新橋1-6-2 汐留タワーB2F
TEL.03-6218-4180　FAX.03-6218-4185
営業時間：平日 11:00-20:00
　　土曜日 11:00-18:30
定 休 日：日曜・祝祭日

［有料自習室］
タイムシェア自習室　アカデミーラウンジ・池袋
〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-12-9 KKビル4F
TEL.03-3864-7082
営業時間：平日 7:30-23:00
　　土・日・祝祭日 9:00-22:00

国内グループ会社

株式会社ラドンナ
〒135-0031 東京都江東区佐賀一丁目5番9号
永代MKビル
TEL.03-5620-2780　FAX.03-5620-2781

株式会社アスカ商会
〒464-0003 名古屋市千種区新西一丁目2番10号
TEL.052-772-5216　FAX.052-772-7707
［東京ショールーム］
〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目22番1号
代々木1丁目ビル1F
TEL.03-6276-8780　FAX.03-6276-8680

株式会社Gクラッセ
〒135-0031 東京都江東区佐賀一丁目5番9号
永代MKビル
TEL.03-5646-5026~7　FAX.03-5646-5028

株式会社キングビジネスサポート
〒101-0031 東京都千代田区東神田二丁目6番7号
クラウン高橋ビル2F
TEL.03-3864-5646　FAX.03-3864-5647

キングジム・グループ

国内グループ会社

株式会社ラドンナ　LADONNA

フォトフレームを中心とした室内装飾小物の企画・販売を行い、ギフト需要を中心にインテリア雑貨店の店頭を鮮やかに彩っています。
品揃えは、ベーシックなものから遊び心に満ちたデザインのもの、さらに新しい機構を加えたものなど幅広いラインアップです。最近はフォトフレームだけでなく、素敵な香りのある暮らしを演出するアロマシリーズやデジカメや携帯で撮影した写真を飾るデジタルフォトフレームも好評を得ています。

株式会社Gクラッセ　Gclasser

ギフト向けの時計や、デザイン性に優れたファイル・収納用品を中心とした各種ステーショナリー・雑貨の企画・開発・販売を行っています。
時計は、シンプルなデザインからファッショナブルで個性豊かなものまで、オリジナルブランドの腕時計を多数展開し、充実したラインアップを揃えています。ステーショナリーは、スタイリッシュな「モノクローム」や「キャビネ・ド・トラバイユ」に加え、新ブランドを次々と発売し好評を得ています。

株式会社アスカ商会　asca

アーティフィシャル・フラワーやクリスマス・デコレーション、インテリア雑貨などの企画・販売を行っています。
「asca」ブランドは、高品質とファッショナブルな展開で、インテリアおよびディスプレイ業界で高い支持を得ています。自然をモチーフに素材や色にこだわった個性あふれるデザインラインで、「Exquisite」や「Glossy Decor」などを展開し、あらゆる空間を彩っています。

株式会社キングビジネスサポート

キングジムグループ各社が本来の業務に専念し、企業価値を高めるためのビジネスサポート全般を行っています。総務・庶務・購買など周辺業務の見直しや企業リスクに関する保険の提案、従業員への福利厚生サービスの提供などを通して、効率的業務をサポートしています。

海外グループ会社

錦宮（上海）貿易有限公司　販売会社

■中国 上海市

経済発展の著しい中国市場に、ファイルを中心とした文具、事務用品を販売する目的で、2002年に中国・上海に設立しました。

P.T.KING JIM INDONESIA　生産会社

■インドネシア 東ジャワ州パスルアン県

クリアーファイルを中心とした、化成品ファイルを生産する工場です。1996年に設立しました。

KING JIM（VIETNAM）Co.,Ltd.　生産会社

■ベトナム ビンズン省

キングファイルを中心とした、事務用ファイルを生産する工場です。2007年に設立しました。

KING JIM（MALAYSIA）SDN.BHD.　生産会社

■マレーシア ケダ州スンガイペタニ市

キングファイルの心臓部ともいえる金属とじ具の生産工場です。1998年に設立しました。

独創的な商品によって社会に貢献したい、キングジムはそのための会社です。

キングジムは、事務用の「ファイル」と「電子文具」を核とした、情報整理用品のメーカーです。オフィスの書類整理のための「キングファイル」、ラベルライター「テプラ」、そして最近ではデジタルメモ「ポメラ」などでご存じの方もおられると思います。

創業者は自身がファイルの発明家でした。「人と同じことをしては面白くない」というポリシーの持ち主で、独創性、オリジナリティを大切にする社風は、今も脈々と受け継がれています。

主力商品の「キングファイル」「テプラ」などは、そのような社風から生まれた、典型的な市場開拓型商品です。

当社の経営理念は「独創的な商品を開発し、新たな文化の創造をもって社会に貢献する」となっていますが、今までになかった、世の中の役に立つ商品をご提供することが、私たちの使命だと考えています。

経営の方向性

近年、法人向け商品の多くが低価格競争に向かう傾向があり、当社は価格競争力を高めるために、海外生産の拡大を行う一方で、価格競争に巻きこまれにくい、商品の開発強化を行っています。

それには、ふたつの方向性があります。

第一の方向性は「電子文具」です。「テプラ」に次ぐ電子文具として、2008年にデジタルメモ「ポメラ」を発売し、ヒット商品になりました。2010年には、デジタル名刺ホルダー「ピットレック」や、卓上メモ「マメモ」など、キングジムらしい新規概念の電子文具を続々と発売しています。

第二の方向性は、個人向け商品の強化です。ファイルの分野におきましても、「スキットマン」ブランドで、個人ユーザーにも分かりやすく用途を絞ったファイルを発売し、ご好評をいただいております。

2008年から、子会社と共同のブランドとして立ち上げた「Toffy」は、20代から30代の女性を意識した生活雑貨ブランドです。これまでのキングジム製品とはがらりと趣を替え、幅広いジャンルの雑貨を扱うブランドとして育成してまいります。

CSRと経営

文具の発明家が「自分の発明した商品で、社会のお役に立ちたい」という思いで作った会社ですが、規模が大きくなると「会社は社会の公器」という考えになり、2001年には株式を上場し、2005年には東京証券取引所の市場第一部に指定していただきました。

この過程で、お客様や従業員に加えて、株主様や社会全体への責任ということを強く意識してまいりました。特に経営の透明性に気を配り、コーポレート・ガバナンス体制を強化しています。

環境問題に関しては、商品が購入され、使用され、廃棄されるまでのトータルでの環境負荷を軽減すべく、設計や素材の選択の段階から工夫を凝らしています。一方で、生産や輸送も含めた企業活動そのものの環境への負荷を軽減すべく、マテリアルフローや環境会計を取り入れ、実情を把握して対策を図っています。

また、海外の子会社に生産を移管するに際しては、キングジム製品としての品質を実現すると同時に、現地の法令を遵守し、地域経済にも貢献できるよう、企業市民としての責任を全うしてまいりたいと思います。

ステークホルダーとのコミュニケーション

コミュニケーションは双方向であることが重要です。商品を開発し、販売することで、メーカーはお客様や市場に語りかけています。一方で、お客様からの声に真摯に耳を傾けることで、クレームも次のより良い商品へのきっかけとなります。また、株主様や投資家様へのIR活動・企業情報の開示も、一部上場企業として重要な活動だと思います。

キングジムは、ホームページの頻繁な更新や、ツイッターの積極活用などを通じて、コミュニケーションの強化に努めております。

今回お届けいたします「CSRレポート・会社案内」は、顧客・株主・社員・社会全体に対するCSRのご報告であると同時に、CSR活動を通じてキングジムグループをご紹介してまいります。ぜひご一読いただき、忌憚の無いご意見を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

株式会社キングジム
代表取締役社長

宮本 彰

経営理念と行動指針

経営理念

独創的な商品を開発し、
新たな文化の創造をもって社会に貢献する

行動指針

見つめよう市場 見なおそう慣行 見つけよう新発想

顧客に対して

商品およびサービスは、十分な顧客満足を果たさなければならない。
新商品開発は、市場開拓型の独創的な企画を追求しなければならない。
その品質は顧客の求める水準に維持され、かつ適正な価格でなければならない。

社員に対して

社員の個性を尊重した能力開発とともに、自由闊達な提案や意見具申ができるなど、能力を生かせる職場環境を保たなければならない。
待遇は能力と実績に応じ、公正かつ適正なものでなければならない。

株主に対して

常に株主の信頼と理解を得られるよう、情報を積極的に開示しなければならない。
企業価値の増大と株主への利益還元に努めなければならない。
コーポレートガバナンスを強化し、公正かつ透明性の高い経営を行わなければならない。

社会に対して

商品は、文化の向上に貢献できるものでなければならない。
社内のコンプライアンス体制を整備し、社会の一員としての意識とモラルを持たなければならない。
商品と企業活動を通して、常に環境と資源の保護に努めなければならない。

創業の精神と経営理念

キングジムの創業者、宮本英太郎（1893 -1975）は、自身が発明家であり、「人と同じ事をしたら楽しみが無い」が口癖でした。「人名簿」「印鑑簿」を考案し、その製造販売のために1927年に株式会社キングジムの前身である「名鑑堂」を創業しました。その後、数多くのファイル・バインダーの開発・商品化に尽力し、独創的な商品群によってキングジムの礎を築きました。

現在の「経営理念」は、2003年より採用されましたが、独創的な商品が市場を創造し、ユーザーの使用習慣や文化を作る、という創業以来の理念を継承しています。また、社会への貢献が企業活動の最終的な目的であることを明確にしています。

宮本英太郎

宮本英太郎が考案した人名簿

ステークホルダーへの責任を明示した行動指針

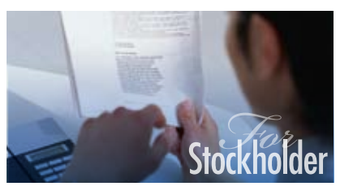
キングジムの「行動指針」は、「顧客」「社員」「株主」「社会」という、ステークホルダーへの責任を明文化しています。この行動指針を具体化するために、各ステークホルダーに対して、下記のような積極的なコミュニケーションを行っています。また、一方的な情報発信ではなく、相互交流的なコミュニケーションを指向しています。このCSRレポート・会社案内も、会社案内であると同時に、キングジムに関係する全ステークホルダーに対する報告として制作しています。

顧客に対して

ISOTなどの見本市への出展や広告展開、さらにメディアへの製品発表会などの広報活動で情報発信するとともに、「お客様相談室」に寄せられたユーザーの声に真摯に向き合っています。ネットを活用した相互コミュニケーションにも積極的に取り組んでいます。

社員に対して

国内のキングジム全従業員を対象に「社内ブログ」を運営し、自由な相互コミュニケーションの場を提供しています。



株主に対して

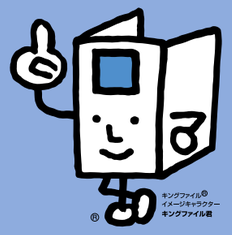
IR情報の開示を積極的かつ迅速に実施するとともに、アナリストや経済記者を対象に年2回の決算説明会を開催。株主総会では理解しやすさを意図したビジュアル化を推進し、総会後には株主懇談会を実施しています。

社会に対して

ファイリングや情報セキュリティをテーマに、消費者啓発を目的としたセミナーを継続的に実施しています。また、各種社会貢献活動を通じて、社会とのコミュニケーションを図っています。

特集

「キングファイル」で見る キングジムのCSR



「キングファイル」が1964年に登場した時、そのあまりに斬新なデザインは多くの人を驚かせました。背面全体を白地のタイトルスペースとして、スクエアパターンと呼ばれる四角いマークでカラー分類するという発想は、それまでのファイルの常識をくつがえすものでした。このキングジムを代表する商品「キングファイル」を通じて、キングジムの企業活動の広がりと、それに伴うCSRの現状をご紹介します。

Development

開発

「キングファイル」は、発売以来、継続的に時代の要求に応える改良を積み重ね、新シリーズを開発してきました。近年は、特に環境へのインパクトを低減させるため、「脱着」とじ具を進化させています。

環境にやさしい「脱着」とじ具の開発

初期の「キングファイル」では、表紙と金属製のとじ具は金属リベットで強固に固定されていました。1996年、「環境への負荷を抑える」ことをテーマとして、表紙ととじ具を分別して廃棄できる「キングファイル　スーパードッチ」を発売しました。1998年には、分別廃棄からさらに前進し、とじ具と表紙を脱着自在にし、リユースすることが可能な「キングファイル スーパードッチ<脱·着>」を発売しました。

「キングファイル」は、長年の使用で表紙が傷んでも、金属製とじ具は強固で耐久性があるため、表紙だけを新しいものに付け替えて金属製とじ具をリユースする、という発想です。

また、古くなった表紙も、専用の簡易なとじ具をご用意し、保存用のファイルとして倉庫などで再利用できるようにしました。

その後、さらに脱着操作性を高めた第二世代「スーパードッチ<脱·着>N」を経て、2008年にはとじ具の脱着操作を究極まで簡易化した「スーパードッチ<脱·着>イージー」を発売しました。とじ具の着脱後に表紙に部品が残らない、新設計のとじ具で、これにより、スムーズな脱着が可能になりました。

2010年には、ほぼすべての脱着式「キングファイル」を、この製品に統合しました。今後も、環境性能と使いやすさのさらなる進化を目指して、開発を進めていきたいと考えています。

一般文具開発部 設計課長
嶋田　博

道具を使わずにとじ具と表紙をきれいに分別でき、表紙にパーツを残さない「<脱·着>イージー」タイプのとじ具。古くなった表紙は、保存用のとじ具をつけて「保存用ファイル」として、丈夫なとじ具は、新しい表紙をつけて、新しいファイルとしてリユースすることができます。

表紙にとじ具の部品が残らない「キングファイル スーパードッチ<脱·着>イージー」

Manufacturing

製造

「キングファイル」は、ベトナムのホーチミン市郊外にある「キングジム·ベトナム」KING JIM (VIETNAM) Co.,Ltd.で製造されています。従業員は671名（2010年6月時点）で、日本向けの「キングファイル」の約80%を生産しています。

■ 所 在 地：ベトナム社会主義共和国 ビンズン省ベンキャット ミーフック第3工業団地
■ 敷地面積：6ヘクタール　延べ床面積：1万8千m²

4Mを意識して品質の安定と生産性の向上を

キングジム·ベトナム
生産マネージャー
Nguyen Quoc Khanh（カーン）

キングジム·ベトナムでは、「キングファイル」の最終組み立てを行っています。金属製の「とじ具」は主にキングジム·マレーシアで生産されたものを入荷していますが、一部の紙への印刷物やプラスチック部品の成型品はベトナムの工場内で内製しており、キングジムの生産子会社としては最大の売上·生産規模の工場です。

品質の安定と生産性の向上のため、4つのMを意識しています。4Mとは、「Man（人材）」「Method（方法の改善）」「Material（材料）」「Machine（機械）」の管理です。その中の「人材」と「方法の改善」を説明します。

Man=人の管理では、現場リーダーであるスーパーバイザーのミーティングを定期的に行い、「5つのS」を徹底させます。5Sとは、「整理」「整頓」「清潔」「清掃」「躾け」という日本語の頭文字です。新人教育もスーパーバイザーが責任を持って行います。

Method=方法については、作業の工程ごとに「改善」を行っています。例として、インデックスの「帳合」の工程では、最初は平置きしたインデックスを一枚ずつ拾っていました。それが、段差をつけた棚を利用してスピードアップし、さらに棚の造作を工夫しています。（写真⑤参照）一度に両手でできる人もいて、非常に効率的になりました。

早番と遅番の引継ぎ朝礼で、申し送り事項を伝達

工場内に掲げられた「整理」「整頓」「清潔」「清掃」「躾け」の標語

the VIETNAM Column 1

キングファイルの生産ライン

工場内配置図

1 印刷工程
キングファイルの表紙裏紙を印刷

2 貼り工程
芯ボールに表貼り·裏貼りを貼る工程

3 穴あけ工程
表紙にとじ具を付けるための穴をあける

4 筋押し工程
表紙を折るための筋をつける

5 帳合工程
インデックスの紙をページ順に帳合する工程

Manufacturing

製造

経理の信頼性を高める

キングジム・ベトナム 経理マネージャー
Huynh Minh Giang（ヤン）

日本の一部上場企業の子会社であることを強く自覚し、経理面では、特に財務報告の信頼性の確保に努めています。経理は正確性と透明性が重要だと考えており、ベトナムの経理ルールをベースとして、国際ルールに合わせた決算資料を作成し、監査法人KPMGの監査を毎年受けています。また、月次決算レポートも作成しています。

正確性を期するために、重要な事項については、経理部内で複数の人間によりダブルチェックを行っています。

従業員の勤労意欲を高め、労働環境に気を配る

キングジム・ベトナム
人事マネージャー
Tran Van Nam（ナム）

キングジム・ベトナムの人事マネージャーとして、気をつけていることをお話しします。

採用は重要ですが、それ以上に重要なのは、長く仕事をしてもらうことです。仕事に慣れた人を継続雇用するためには、本人の納得のいく労働条件が重要です。給与については年1回、人事考課を行って見直し、本人と各マネージャーが面談して、社長まで立ち会って契約します。特に人事考課では、十分に意図を説明して納得を得るように努めています。

ベトナムの法律や条令を遵守し、労働環境については、ビンズン省の条例に基づいて、年4回、工場内の照明・騒音・ホコリなどの状態を労働環境部に報告しています。

チームワークを体感する従業員研修。
力を合わせて立ち上がる。

従業員教育にも力を入れており、社内外で行うセミナーをグループ単位で順次行い、ほぼ全員が受講しています。研修のテーマは、コミュニケーション（報告・連絡・相談）や、マネージメントに関するものが中心です。日本的な製造業の価値観を教えるものもあります。品質に対するこだわりや、業務改善などは、このような価値観を教えることで育っていくと思います。

2010年7月「チームビルディング研修」として、全員参加の大会を行いました。
16チームに分かれて、ゲームとスポーツを行い、チームワークの大切さを学習しました。

経営理念

キングジムの経営理念のベトナム語訳が掲げられています。

就業規則

就業規則は、工場内の誰でも見られる場所にあります。

in VIETNAM Column 2

インターンの受け入れ

2009年に引き続き、2010年1月にも、ビンズン省のビンズン大学から、
1名のインターンを受け入れました。約4カ月のインターン期間中、
事務系の仕事が中心でしたが、見本市での接客業務も体験してもらいました。

Logistics

物流

ベトナムで生産された「キングファイル」は、ホーチミン市からコンテナ便で約1週間の船旅の後、東京湾に入り、松戸のロジスティクスセンターを経由して全国の店頭やユーザーの手元に渡ります。CSRと経済性を意識した物流の取組みをご紹介します。

森林資源保護を意識し、リターナブル・パレットへ切り替えました

常務取締役 物流本部長
宮本 英晴

日本国内での販売が主である「キングファイル」は、海外生産の比率が増大するとともに物流コストの比重も重くなり、物流管理の重要度が増してきました。物流本部では、物流・在庫コストの削減、安全性の確保、在庫量の健全化を目指した管理を行っていますが、「キングファイル」のベトナム生産に関連してポイントが2つあります。

第一は、ベトナムの保税倉庫の活用です。生産地の賃借料の安い保税倉庫を、在庫調整倉庫として活用し、出荷量調整をすることで、在庫保管コストの削減に貢献しています。

第二は、輸送時に製品の下に敷いて使用する木製のパレットを、2009年12月より、日本製のリターナブル・パレットに変更したことです。これまでは、いわゆる南洋材を使ったパレットを使用しており、ベトナムから日本に到着した時点で傷みが激しく、1回の使用で廃棄せざるをえませんでした。この変更により、年間15,000枚以上の木製パレットの廃棄を抑制することができ、環境面で好影響が見込めます。

日本製のリターナブル・
パレットに変更

ベトナムでの「キングファイル」の出荷作業

User support

ユーザーサポート

「キングファイル」が、お客様の手元で十分に活用され、その使命を全うできるよう、ユーザー満足度を高めるさまざまな活動を行っています。

お客様相談室

キングジムお客様相談室では、「キングファイル」に関して年間2,161件（2010年度）もの相談が寄せられています。そのうち製品の「仕様」に関するご相談が1,769件と最も多く、「キングファイル」の豊富なバリエーションから、お客様のニーズに合った「キングファイル」をご紹介しています。

「オープン・ファイリングシステム」を啓蒙

ファイリング研究室長
矢次 信一郎

「キングファイル」は、大量の文書を安全確実に保管し、検索性に優れた「パイプ式ファイル」です。このファイルの機能的な特性を生かし、キングジムは1980年代から「オープン・ファイリングシステム」をユーザーにご提唱してきました。ファイルを共有することで、オフィス全体の情報共有を促進するこの考え方は、多くの企業や官公庁で採用され、ファイリングの方法を日本のオフィスに根付かせたといえます。

キングジムのファイリング研究室では、マスコミやインターネットを通じた啓蒙活動を行うとともに、「無料ファイリングセミナー」を年20回実施し、文書整理のノウハウをご提供しています。

無料ファイリングセミナー（詳細はP20参照）

イノベーション&デザイン

顧客と社会への貢献となるような新商品の開発

キングジムの使命は、顧客と社会への貢献となるような新商品の開発にあります。
開発担当者にクローズアップして、キングジム商品開発の「イノベーション&デザイン」をご案内します。

電子文具開発部　立石 幸士

「ポメラ伝説」ができるまで

**「ポメラ」は、「キーボードで文字を書く」ことにこだわった、コンパクトな「デジタルメモ」です。この「ポメラ」は、発売直後からネットの口コミで評判が広がり、マスコミに取り上げられ、大ヒット商品になりました。
その商品開発は、現場の小さなミーティング中に出されたアイデアから始まりました。**

アイデアの発端

2007年春。電子文具開発部の立石幸士（左ページ写真）は、「オフィスのミーティング環境を改善するツール」をテーマにした少人数のアイデアミーティングに参加しました。さまざまなアイデアが出された中で、立石が提案したのは、「折りたたみ式キーボードに液晶画面を付けた、デジタルなメモ帳」でした。

このアイデアの背景には、携帯電話用の周辺商品を企画した際、「折りたたみ式キーボード」を考えた経験がありました。また、出張の多い立石には、メモを取るだけのためにノートパソコンと重いACアダプタを持ち運ぶのは不合理だという思いもありました。

開発部内での評価が高かったことから、その後、具体的な技術メーカーの打診、選定を開始し、開発のめどが立ってきました。

2008年に発表した、デジタルメモ「ポメラ」DM10

開発会議でのドラマ

「サクッとメモを取るだけのマシン」という商品コンセプトから、「サクメモ」という仮称が付けられたこの商品は、2007年12月に「開発会議」へ提案されました。立石のプレゼン後、出席者からは強い反応は見られず「とまどい」や「判断保留」の空気が漂います。そこに、一人の役員が発言しました。

「自分は海外出張にノートパソコンを持っていく。移動の飛行機の中で論文を書くためだ。バッテリーも含めるとノートパソコンは非常に重い。ネットも見ないし、ただ文章を書くだけなのに、こんなに重いモノを持ち運ぶのは嫌だと常々考えていた。ぜひ商品化して欲しい。私はぜひ欲しい。絶対に買う。」と発言したのは、大学教授で、当時のキングジムの社外取締役でした。

後で、社長の宮本は、「あの発言で、ぜひ欲しい、という熱烈な層が一部にいることが分かり、開発の決断ができました。少数派であっても熱心なユーザー層がいれば、そこには新しい市場がある可能性が高い。新規概念商品の開発については、多数決では決められないという、好例だった」と回想します。こうして、「サクメモ」の本格的な開発がスタートしました。

開発段階での「ポメラ」のコンセプトシート

「ポメラ」発表の反応とその後

2008年10月21日、「ポメラ」DM10は、50人を超えるマスコミ関係者を集めた製品発表会を実施し、世に出ました。ネットのニュースサイトに「ポメラ」の記事が掲載されると、その日のうちに、ネット掲示板やブログにさまざまな書き込みがされ、多くのマスコミから取材が殺到しました。

「書くことだけに機能を絞った思い切りの良さ」「デジタルガジェットにおいて近年まれにみる勇気ある商品」など、商品コンセプトに対する共感が多く語られました。

初年度で約10万台を販売するヒット商品となり、スタンダードモデルのDM10に加え、ラインアップ化を行い、「ポメラ」の市場は現在も拡大中です。

「ポメラ」記者発表会

デジタル名刺ホルダー「ピットレック」

名刺データの取り込みから、データ検索までを一台で実現したデジタル名刺ホルダー。コンパクトな本体に内蔵されたカメラで名刺をデジタル画像化し、データを保存します。取り込んだ名刺画像は文字認識機能（OCR）により、会社名・氏名での検索が可能です。

開発にあたり、機能面では名刺を撮影してから登録するまでの一連の作業を、誰でも簡単に登録できるように設定しました。名刺の情報を読み取る文字認識（OCR）は、液晶画面に写りこむ面積が大きいほど認識率が上がることから、カメラレンズと名刺の距離や位置、角度などにこだわりました。

また、名刺の検索機能については、スムーズな検索ができるよう、会社名や氏名、履歴順など、効率的な検索方法を盛り込むことに努め、名刺を整理される方の不満を解消できるソフトを目指しました。

電子文具開発部　**佐藤 賢亮**

合成皮革製ファイルシリーズ「レザフェス」

「レザフェス」は、外側が合成皮革、内側は、ポリプロピレンまたはポリエステルからなる新しいタイプの合成皮革製ファイルシリーズです。「シックで高級感がある」「おしゃれな」商品を手頃な価格で購入したいというユーザーの皆様のご要望にお応えした商品となっています。

店頭にはさまざまな商品があふれていて、自由にモノを選べる今。でも、ファイルはPP（ポリプロピレン）製のものばかり…そんな現状に満足できない、自分らしい物を求める大人向けのファイルシリーズです。合皮製ファイルというと、高級感がありますが、同時に重たい印象になりがちでした。これを解消するために内側に異素材を使用し、薄くて軽い、普段使いにぴったりなファイルに仕上げることができました。

一般文具開発部　**新保 幸子**

ラベルライター「テプラ」PRO SR950

「テプラ」の使用頻度が高いオフィスや、工場、設備関連のニーズに応えた「テプラ」PROシリーズの最上位機種モデル。4階調が表示可能なバックライト付き大型ディスプレイを採用。入力システムには予測入力機能付きのATOKを搭載するなど、使いやすさもさらに向上させています。

「テプラ」シリーズの最上位機種として、多彩な機能をいかに使いやすくまとめるかを目指しました。

液晶バックライトは、記号や装飾の細部も確認できるように、上品で落ち着いたLEDを選びました。また、ラベル作成時に「削除キー」のみでしか編集画面に戻れなかった仕様の見直しを行い、ひとつのキーで、設定画面などから編集画面に戻ることができる、「ホームキー」を「テプラ」で初めて採用しました。

電子文具開発部　**森下 由貴子**

卓上メモ「マメモ」

紙にペンでメモするのと同じように、液晶画面にタッチペンでメモするシンプルな電子手書きメモ。コンパクトな本体は、デスク上や電話の脇に置いても邪魔にならず、思いついたアイデアや電話中のメモ、仕事の予定などを、紙に手書きでメモを取る感覚で使えます。

卓上メモ「マメモ」
mamemo

デスクの上で使用することをイメージしていたため、本体をコンパクトにすることは外せませんでした。液晶画面は、メモを入力するエリアを少しでも大きくするために、液晶の1ドットをアイコンボタン用に使用し、メモ入力エリアと別に設けたことでできる限りのスペースを確保しました。気軽に使っていただきたかったため、お求めやすい価格の実現も苦労したポイントです。

また、「マメモ」という商品名は、「まめに」「メモ」を合わせた造語で、紙のメモと変わらないマメモの操作感、手軽さ、これまで以上にまめにメモしていただきたいという想いを込めたものです。

電子文具開発部　**東山 慎司**

電子マネービュアー「リレット」

EdyやSuica、nanaco、WAONといった電子マネーの残額をいつでも手元で確認できる電子マネービュアーです。お使いの電子マネーを本体に重ね合わせ、ボタンを押すだけで、液晶画面に現在の残額が表示されます。本体の大きさは、電子マネーと同程度の大きさで、厚さも4.5mmと薄型のため、持ち運ぶ際にもかさばりません。

RELET
電子マネービュアー「リレット」

Development Episode

この商品の開発は、私自身、使用する電子マネーが複数になると、残額が分からなくなることが多く、気軽に残額を確認したいと思ったことがきっかけでした。

開発においてこだわった点は、誰にでも気軽に使っていただくために、「残額を見る」機能に絞ったことと、常に持ち歩いてもらうため、電子マネーと同じサイズにすることでした。

この実現は一見単純に思えますが、電子マネーサイズの中に、電子マネーを読み取るためのアンテナや、液晶、電源となるコイン電池を配置するのは至難の業でした。また、できる限りの省電力化を図り、1年以上の電池寿命という目標をクリアするために何度も回路の見直しを実施しました。

電子文具開発部　**堀井 信之**

イオン発生式空気清浄機「ビオン」

ファンもモーターも使用しない、コンパクトで静かな空気清浄機です。空気中に漂うチリやホコリなどの微細な有害物質を帯電させ、集塵板で吸着する<電気集塵方式>によって、空気を清浄します。さらに、同時に発生する微量のオゾン（0.05ppm以下）による高い脱臭効果や除菌効果が、快適な空間を作ります。

vion
イオン発生式空気清浄機「ビオン」

Development Episode

開発過程において、デザイン面では商品の塗装にこだわり、特にピアノのような光沢感のある「ブラック」色は実現することが難しく、試作を繰り返し行いました。また、グループ子会社の「キングジム・マレーシア」で製造する初めての電子製品だったため、設備調整にも積極的に加わりました。ウイルス抑制効果については、ユーザーの方に具体的な効果をお伝えするため、「付着ウイルスの抑制」などの試験を公的機関で実施し、「検証結果報告書」としてパンフレットにまとめました。「ビオン」は、コンパクトながらも最大10畳の空気を清浄できるため、オフィスやご家庭など、あらゆる場所でご活用いただきたいです。

電子文具開発部　**加藤 正博**

女性開発チームによるToffyシリーズの開発

「Toffy」は20代以上の女性をターゲットに、「Toffyで彩る私の毎日」をコンセプトとして展開する雑貨ブランドです。2008年よりキングジムとキングジムのグループ会社である株式会社ラドンナ、株式会社Gクラッセが、協力して開発を進めてきました。

チェリーピンクやライムグリーンなど、鮮やかなカラーが特徴的で、文具から傘立てや目覚まし時計などの生活雑貨まで幅広く揃えています。最近では、アロマ・ディフューザーやデジタルフォトフレーム、インテリアホンなど、家電的な機能を持つ商品から個人向け文具まで、現在、約500品番のラインアップを揃えています。

女性向けブランドであり、流行をいち早く取り入れるため、ユーザーと同じ年代の社員を各社内から開発要員として抜擢。商品の企画提案からデザインに至るまで女性チームメンバーが積極的に活動しています。

また、2010年4月にはアンテナショップとして、東京都港区の汐留タワーに「Toffy SHIODOME」をオープンしました。ショップスタッフは、店長をはじめ、女性スタッフを中心に構成されています。今後は、Toffy商品群に加えて、Toffyブランド以外の雑貨商品も取り扱う予定です。

「Toffy SHIODOME」のスタッフ

左から　（株）ラドンナ 企画部　**栗原 穂**、商品企画部　**井上 彩子**、商品企画部　**山田 奈弓**、（株）Gクラッセ　**加藤 恵**

顧客に対する価値の提供

誠実なコミュニケーションを重視し、お客様との信頼関係を構築

商品は、ユーザーの手元で活用されて初めて価値を生みます。
キングジムの商品を安心して購入、活用していただくために、さまざまな活動を通じて、
お客様の信頼を育んでいます。

国際文具・紙製品展ISOT2010

ユーザー視点に立ったサービスの提供

**キングジムでは、商品を長期でご愛用いただくことを目指し、顧客との信頼関係を築いています。
ユーザーへのサービスの提供は、問題解決のお役に立てるよう、提案型のアプローチに力を入れています。**

テプラ 外国語ラベル工房

2010年1月からラベルライター「テプラ」を活用し、英語や中国語、韓国語のラベルの作成が簡単にできる専用サイト「テプラ外国語ラベル工房」の無料サービスを開始しました。

「テプラ外国語ラベル工房」は、公共施設や店舗、観光地など外国人がよく訪れる場所で利用頻度の高い案内文や注意喚起の内容が約1,200文例あり、よく使われる表示ラベルの英語・中国語（簡体字）・韓国語に翻訳された文例を選ぶだけで手間なく作成できます。850種類以上の絵記号と合わせ、表現力の高いラベル作成が可能です。

❶探したい文例を検索し、編集画面に進みます。
❷4言語で表示される文例や記号を自由にレイアウトします。

アカデミーラウンジ

キングジムでは、会員制有料自習室「アカデミーラウンジ」の運営を開始し、2010年7月に東京都豊島区・池袋に《タイムシェア自習室 アカデミーラウンジ・池袋》をオープンしました。

資格試験など専門的な勉強をするビジネスマンや、定期試験や受験勉強をする学生など、お客様のライフスタイルに合わせてお選びいただける完全会員制の自習室です。「平日昼プラン」「平日夜プラン」「休日プラン」、平日の夜と休日にご利用いただける「社会人応援プラン」など、タイムシェア・システムを導入することにより、クオリティの高い自習空間をリーズナブルな価格でご提供しています。

タイムシェア自習室 アカデミーラウンジ・池袋
http://www.kingjim.co.jp/academylounge/

検索しやすいホームページによる情報提供

2010年6月15日より、キングジムのホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）をリニューアルオープンしました。

新しいホームページは、当社が取り扱う商品やサービスを従来よりもさらに分かりやすい形でご案内することを目指しました。

トップページでは、お薦めのブランドの専用ページに直接アクセスできるバナー風のボタンを配置し、スムーズに情報にアクセスできます。今回のリニューアルを機に、より分かりやすいサイトの構成と、お客様により有益な情報提供を心がけていきます。

情報活用の啓発

「快適な情報活用環境を創造する」これがキングジムの企業ドメインです。商品をご提供するにとどまらず、さまざまなメディアを通じて、分かりやすく簡単に実践できる情報活用のノウハウを発信しています。

仕事の能率がぐんぐん上がるファイリングのノウハウを伝授します。

ファイリング研究室
野原 淳

無料ファイリングセミナーの実施

当社の「ファイリング研究室」では、年に20回以上のファイリングに関する無料公開セミナーを実施し、今年度は、のべ200名以上の方に受講していただいています。また、各地でも代理店や販売店の主催する顧客向けファイリングセミナーに参加しました。

「参考になった」「頭の中で分かっているつもりだったが、実際にやってみる気になれた」「今後の業務に取り入れたい」等のお客様の声をいただいています。

他に、社団法人日本画像情報マネジメント協会（JIIMA）主催のeドキュメントフォーラム2009にてECM（統合文書情報マネジメント）に関するセミナーを実施するなど、幅広くファイリングの啓発活動を行っています。

無料ファイリングセミナーの様子

オープン・ファイリングシステム

当社がご提案している情報ライフサイクルに合わせた「見える・無理のない・継続できる」ファイリングシステムです。どんなビジネススタイルにも柔軟に対応できることが大きなメリットです。誰にでも分かりやすく管理状態が見え、分かりやすいルール表示で運用に無理がありません。そのため、ファイリングが継続しやすいのです。この考え方は、紙文書だけでなく電子文書管理にも応用できますので、トータル・ファイリングシステムとしても実践していただけます。

A 仕掛りファイリング

1案件1フォルダーに入れてボックスに立てて管理

- ●机上に複数の仕事を広げることがない
  →文書、情報が混ざらない
- ●案件ごとに優先順位を決めて仕事に取り組める
- ●メンバーの業務量を把握できる
- ●仕掛りボックスは他の人でも閲覧できる
  →情報の共有化

B MAILファイリング

回覧、外部からの文章、提出物などはMAILボックスに立てて伝達

- ●メンバーに確実に回覧、提出できる
- ●不在、離席中でも確実に渡せる
- ●情報の停滞、閲覧の済んでいない人がわかる
- ●回覧情報が他の文章に紛れ込むことがなくなる

C 保管ファイリング

グループ共有のオープン収納棚で管理

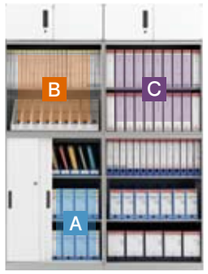
- ●管理状態が見える
- ●整理された状態を保とうとする
- ●意識が維持しやすい

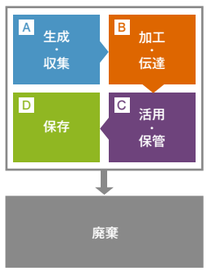
統一的なルール付きの見出しを表示

- ●書類にあった用具を自由に選択しながらも、統一感のあるオフィスを実現

見出しはファイリングルールも併記

- ●ファイル管理表を参照しなくとも、誰でも正しくファイルを置き換え、廃棄できるオフィス環境を実現





Webサイトリニューアル

より良くファイリングを理解していただけるよう、Webサイトをリニューアルしました。
http://www.kingjim.co.jp/filing/

ファイリング研究室

メディアを通じて情報活用をPR

雑誌

日経ビジネスAssocie 12月15日号、
OZplus 2010年1月号

新聞

読売新聞夕刊 シゴトON×OFFハンドブック
（2009年12月4日、11日）

Web

誠ブログ〈http://blogs.bizmakoto.jp/〉

文庫本

日経文庫　ファイリング&整理術

誠ブログ

環境意識の啓発

キングジムはホームページや展示会を通じて、自社商品の環境情報を分かりやすく公開しています。ユーザーへの環境情報の提供を通じて、環境への意識を啓発していきます。

キングジム環境マーク※

製造ステップ

商品の主要な部材に「再生紙」、「再生PP」や「再生PE」などを利用することによって、省資源化を進めます。商品の企画・設計から環境配慮を重要テーマと位置づけています。

ECOLOGY 再生紙　ECOLOGY 再生PP　ECOLOGY 再生PE
ECOLOGY 再生PS　ECOLOGY 非木材紙　ECOLOGY バイオマス資源

使用ステップ

古くなった商品も使用可能な部分を「再使用（リユース）」できる設計や、部材を交換することでいつまでも「長期使用（ロングライフ）」できる商品を開発しています。使用段階でのユーザーの「環境配慮」にお応えします。

ECOLOGY リユース　ECOLOGY ロングライフ

廃棄ステップ

商品を廃棄する時のことまで考慮に入れ、可燃・資源ゴミに簡単に分別できる「分別廃棄」仕様や使用済み商品の回収システムにより、ゴミの発生を抑制しています。

ECOLOGY 分別廃棄　ECOLOGY 回収・再資源化　ECOLOGY 回収・リユース
ECOLOGY 鉛フリーはんだ

※キングジム環境マーク：キングジム商品の素材や使用時・廃棄時の情報について、お客様自身が判断できるようにカタログに掲載した独自のマーク。

Webによる情報開示

キングジムのホームページでは、環境への取組み全般について紹介しています。その中でキングジムが独自に制定した「環境マーク」は、商品のライフサイクルにおいてどの部分が環境配慮されているかを説明しているマークです。キングジム環境マークについては、環境省Webサイト内「環境ラベル等データベース」でも紹介されています。

ラベルについて
http://www.kingjim.co.jp/env/02_05

キングジム環境配慮情報
http://www.kingjim.co.jp/env

環境省
環境ラベル等データベース
http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/index.html

環境展示会

国内最大の環境展示会である「エコプロダクツ展」（主催:社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社）に、キングジムは第一回より出展しています。

この展示会は、環境問題に対して企業がどのように取り組んでいるのかをお伝えし、またお客様のご意見を直接伺える環境コミュニケーションの場です。今後も展示会を通じて、低炭素社会の実現に向けたキングジムの取組みや環境配慮商品をより多くの方々に知っていただきたいと考えています。

エコプロダクツ展でのキングジムブース

顧客とのコミュニケーション

お客様の声は私たちの大切な財産です。「現在のお客様」はもちろん「これからのお客様」の信頼にも応えるため、さまざまなコミュニケーションを通して、顧客満足の向上に努めています。

お客様相談室による継続的コミュニケーション

キングジムではお客様のお問合せ窓口として、《お客様相談室》を設置し、ホームページ（http://www.kingjim.co.jp/）においては、FAQページやメールによる商品に関するお問合せをお受けしています。また、ファイリングセミナーの開催やISOTなどの展示会等によって、お客様とのコミュニケーションに努めています。

さらに、新製品の最新情報をお届けするメールマガジン「KJ-TIMES」の配信、「ファイル」をご使用いただいているお客様で組織されたFB会員組織を運営し、お客様との情報交換を行っています。

お客様とのコミュニケーションの重要な窓口として、《お客様相談室》では2010年度に電話やメールなどで8万6千件のお問合せをいただきました。

2009年秋に従来全国4カ所に設置していた相談室を1カ所に集約し、お客様からのお問合せやご意見・ご要望に、これまで以上にお応えしていきます。お客様相談室に寄せられたお客様の生の声は、キングジムグループの貴重な財産として、企画・開発・設計・製造・販売・サービスなどすべての事業活動にフィードバックしています。

お客様相談室：フリーダイヤル全国共通：0120-79-8107
受付時間：平日（月曜日～金曜日）午前9:00～午後5:30

「お客様の声を全社にフィードバックして顧客満足度を高めます。」

お客様相談室室長
山崎 英一

お客様相談室では、お客様の声をお聞きしてご不明な点にお答えするだけではなく、改善・改良のご提案を受けて、製品の機能の改善、パッケージへの表示、カタログや取扱説明書への表記など、具体的な改善策を関係部門へ提案しています。

CS部 お客様相談室のメンバー

品質保証活動

お客様からお受けした製品の故障・トラブル情報は関係部門へフィードバックしています。さらに、関係部門とは定期的に情報交換し、商品開発や仕様の改善に努めています。

また、サービスセンターでは、お客様に満足いただく修理品質の実現のため、定期的にアンケートを実施し、お客様の声をいただく活動をしています。

ISOT

文具業界最大の展示会ISOT（国際文具・紙製品展）では、新ジャンル商品のトータルな売場作りを提案するための具体的な使用シーンを意識したブース作りを心がけました。

特にToffyシリーズは、20代の女性を中心に、多くのお客様に好評をいただきました。

ISOT風景

ISOTでの新製品紹介

新製品プロモーションによる顧客接点の拡大

多様なジャンルの新製品の理解促進のため、流通への勉強会を年に百回程度実施しています。この勉強会では、商品特長を一方的に説明するだけでなく、流通の顧客の特性を教えていただきながら商品の利点が上手く伝わるように、相互の理解促進を図っています。

販促勉強会

代理店・小売店とのパートナー関係

代理店との製販会議（販促会議）を半期に1回実施しています。継続した取引実績から、商品知識を身につけているものと思いがちなファイル商品についても改めて勉強会を実施するなど、新たな気付きができるよう心がけています。

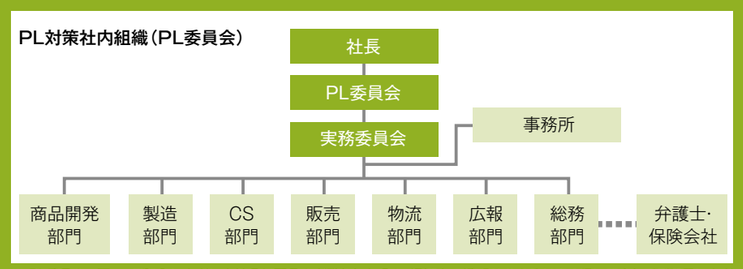
また、キングジムグループ商品であるToffyシリーズのフェアを実施することで販売店の店頭を活性化し、新たな商材を提案するとともに、グループ企業間での新規販路開拓など、相乗効果を狙った活動も実施しています。

また、人材育成支援のひとつとしてパートナーシップの高い流通業者様の新人研修も毎年実施しています。

店頭でのToffyシリーズフェア

商品事故への対応

万一、ご購入いただいた製品に不具合が発生した場合には、迅速かつ透明性のある対応を行い、より安心してご使用いただけるよう努めています。また、PL委員会※を中心とした商品安全体制により、より安全な製品をお届けできるよう万全を期しています。



※ PL委員会：万一、ご購入いただいた製品に不具合が発生した場合、迅速かつ透明性のある対応を行い安心してご使用いただけるようPL委員会を設置し、安全な製品をお届けできるよう万全を期しています。

個人情報保護

お客様からお預かりした個人情報は、個人情報管理規程に則り運用しています。情報セキュリティ委員会を中心にISMS（情報セキュリティマネジメントシステム）を運営し、そこで得た知見を生かして定期的に監査しています。

環境経営の推進と環境配慮製品への取組み

企業活動のあらゆる面で環境への配慮を実践

キングジムグループは、製品を供給するメーカーの立場として、
製品が製造され、使用され、廃棄されるまでのライフサイクルを検討し、各ステップでの対策を追求しています。
また、企業活動全体として、環境への影響に配慮した多様な活動を展開しています。

キングジム・ベトナム

環境憲章の制定

文具・事務用品メーカーとして商品を供給する立場から、
キングジムは「環境憲章」を制定し、社会の一員として責任ある取組みを行っています。

環境憲章

次世代のために、私たちは取り組みます。
For the next generation

環境理念

キングジムグループは商品を供給する立場から、資源の有効活用を積極的に行い、地球にやさしい商品の開発・生産につとめます。
キングジムグループは社会の責任ある一員として、自然との共生をめざし、地球環境の保全につとめます。

環境憲章
キングジム環境憲章は、1998年1月に制定されました。

行動指針

キングジムグループは自然との調和を経営の重要課題としてとらえ、企業活動の全域で環境へのやさしさを優先して行動します。

- 開発・設計の段階から環境・安全性を考慮し、環境保全に適合した省資源・環境配慮製品の提供につとめる。
- 生産・販売・物流・廃棄などの各段階で、環境保全に貢献できる資材やシステムを積極的に取り入れる。
- 環境に関する法規制を遵守するとともに、自主管理規制を設定し環境管理の向上につとめる。
- 社内の環境教育を行い意識の向上をはかるとともに、環境保全活動を通して社会に貢献する。
- 環境管理の組織、運営制度を整備し、環境改善施策を実行し自主管理の維持向上につとめる。
- 環境に関する方針を必要に応じて開示し、環境保全につとめる。

環境委員会

環境委員会では、まず環境問題に関する動向を把握し、委員会メンバーが共通の認識を持つことから始まります。そして、自部門への影響や対処方法を検討していきます。部門の持つ特性によって環境問題に対する考え方もさまざまであり、他部門の意見は参考になることが多く、これらを結集してキングジムの環境負荷を低減できるよう、努めています。

環境委員会 製品部会のメンバー

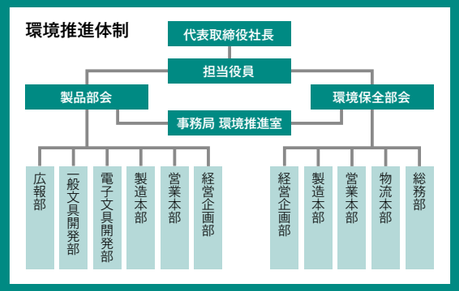
環境推進体制

キングジムでは環境担当役員のもと、環境課題に積極的に取り組み、かつ迅速に対応するために、環境委員会（事務局　環境推進室）を開催しています。
商品の環境配慮化を検討する「製品部会」、キングジムグループにおける環境保全を検討する「環境保全部会」の2つの部会を毎月交互に開催して、テーマ別に議論および検討を重ねてきました。

2010年度に検討したテーマ

製品部会	① カーボンフットプリント ② グリーン購入法への対応 ③ 容器包装リサイクル法への対応 ④ 環境マーク　等	環境保全部会	① GHG進捗管理 ② 環境会計 ③ 環境規制への対応 ④ 省エネ施策検討　等

また、両部会を通じて「生物多様性」についての情報共有化を図り、今後のキングジムグループとのかかわり方等、知識を深めました。



環境マネジメント

企業の環境負荷低減のために、社員は何をすべきか?
キングジムでは社員に対する環境啓発の一環として、環境情報の提供や環境教育などさまざまな取組みを行い、環境問題に対する関心を高めつつ環境負荷低減を実践しています。

社内提案制度

キングジムには、日常の仕事の改善、生産性の上がる改善などを自由に提案できる「社内提案制度」があります。その中で、「環境」に対する改善提案も数多く出されるようになり、環境問題への意識の向上が見られます。提案内容は環境委員会でも取り上げられ、実施の際にメリットはあるか、全社的に展開が可能かどうか等を検討しています。2010年度には、31件の環境提案がありました。

提案内容
- 環境配慮商品による店舗活性化
- 電力使用量削減策
- 副資材の有効利用
- オフィス什器の有効活用 等

社内に対する環境のPR

「チーム·マイナス6%」の参加企業として「COOL BIZ」「WARM BIZ」を実施しました。「チーム·マイナス6%」は2010年1月に「チャレンジ25キャンペーン」へ生まれ変わりましたが、キングジムでは引き続き、この活動に参加してCO_2排出量の削減に取り組んでいます。

COOL BIZ 社内掲示ポスター

環境教育

全社員が「環境保全」に対して共通の目的を持つこと、そして業務に携わることが企業の環境負荷低減のためには重要です。キングジムでは、新入社員研修プログラムの一環として、入社時に環境教育を実施しています。具体的には、自社商品の環境配慮ポイントを中心に、キングジムの環境への取組みや企業と環境とのかかわりについて、情報の共有および理解を深めました。

新入社員に対する環境教育

温暖化防止

地球温暖化を防止するために、GHG(温室効果ガス)排出量を削減することが重要だと考えられています。
キングジムは、さまざまな省エネルギー対策を実施することで地球温暖化防止に取り組んでいます。

地球温暖化防止への取組み

地球温暖化防止策として、2006年度よりGHG(温室効果ガス)排出削減に取り組んできました。初年度に「2010年度までに、1995年度比で84.0%を達成する」という目標を掲げてきましたが、その最終年度である2010年度の排出量は、1,444t-CO_2となり、基準年度比62.0%という結果でした。

削減要因としては、省エネルギータイプの空調設備の導入や社員による省エネルギー対策の実践等が挙げられます。今後の課題としては、海外生産拠点から排出されるGHGも含めて国内外問わず、グローバルな視点での排出削減を目指す必要があります。これからもキングジムグループとしてのGHG排出削減に向け、努力していきます。

今後は
グローバルな視点
での排出削減が
課題です。

環境推進室長
佐藤 朋直

具体的施策

(1)室内温度管理の徹底
冷房時と暖房時における室温管理

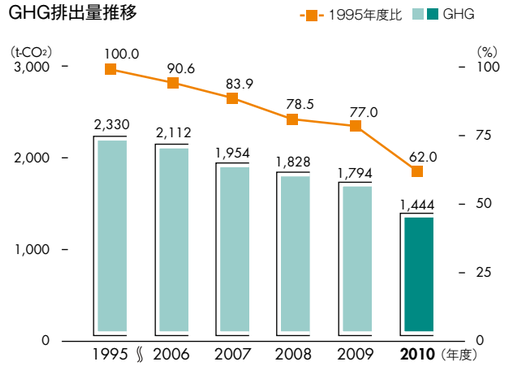
(2)照明管理の徹底
不要な照明の消灯や早朝および残業時は、必要な箇所のみ点灯する

(3)OA機器管理の徹底
会議や昼食時における離席時のパソコンディスプレイのスイッチOFF

(4)アイドリングストップの徹底
営業車等の当社自動車は、駐停車時にアイドリングストップを実施する

(5)エレベーター使用における効率化
階段を利用して昇降できる階数については、できるだけ階段を利用する

GHG排出量推移



環境会計※

環境会計を算出することで、どの分野にどの程度のコストを費やしているかが把握できます。例年、研究開発コストが多くなっていますが、これは、キングジムが開発型企業としてエコマーク商品およびグリーン購入法適合品等、環境配慮商品の開発に注力している証です。環境負荷低減のために、今後も最適なコスト負担を実践していきます。

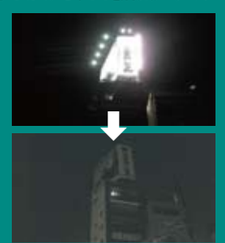
環境保全コスト(2010年度)

分類	主な取組みの内容	費用額(千円)
①事業エリア内コスト／資源循環コスト	廃棄物処理／リサイクル 等	15,319
②上·下流コスト	カートリッジ回収／容リ法 再商品化委託料金	19,858
③管理活動コスト	従業員教育／カタログ製作、展示会出展 等	18,400
④研究開発コスト	開発試作／設備 等	46,834
⑤社会活動コスト	環境保全団体への寄付 等	300
合計		100,711

※環境会計:事業活動における環境保全のためのコストとその活動により得られた効果を認識し、可能な限り定量的(貨幣単位または物量単位)に測定し、伝達する仕組み。

ライトダウンキャンペーン

地球温暖化防止のため、環境省が呼びかける「CO_2削減／ライトダウンキャンペーン」に参加しました。夏至の日(6/21)、広告塔照明を消灯し、省エネルギーと温暖化防止のメッセージを発信しました。また、社内ブログを通じて社員にもキャンペーンへの参加を呼びかけました。



デマンド値の管理

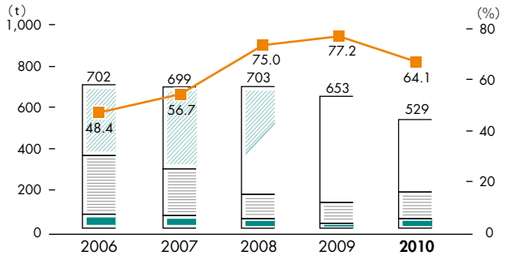
千葉県松戸地区では、電力の使用についてはデマンド(最大需要電力)数値の把握を始めました。

デマンド警報機能による管理の結果、電力の使い過ぎへの認識が高まり、節電効果が生まれ、契約電力のアップ防止につながっています。また、コストダウン効果も表れています。

廃棄物対策

事業活動に伴い、廃棄物は必ず発生します。その廃棄物を削減するにはリサイクルが欠かせません。
キングジムでは、各部門・各部署においてリサイクル率の向上を目指しています。

廃棄物推移 -■-リサイクル率 ▨リサイクル ▤産業廃棄物 ■一般廃棄物



算出範囲:キングジム本社、国内工場および物流センター

オフィス部門のリサイクル

本社がある東京都千代田区には、「ちよだエコ・オフィス町内会」という古紙リサイクルシステムがあります。オフィスから排出される古紙をコピー紙、新聞紙、雑誌等に分別回収してリサイクルしています。

キングジムでは、このリサイクルシステムを利用して古紙を分別排出し、紙ゴミの減量と省資源化に努めています。

紙の分別回収

製造部門のリサイクル

さまざまな種類の産業廃棄物が発生する松戸工場では、場内で23種類のゴミに細分類しています。プラスチックや紙の単体素材は有価物として引き取られ、複合素材はRPF(Refuse Paper & Plastic Fuel)の原料となります。

また、破損や腐敗した木製パレットは破砕後、合板用原料になる等、細分類して廃棄処理することで、リサイクル率がアップすると同時に、廃棄費用のコストダウンにもつながっています。

廃棄物の細分類化

物流部門のリサイクル

物流センターから発生する主な廃棄物は、使用済みの荷崩れ防止用ラップと段ボール箱等の副資材です。ラップは社内にて圧縮後、処理業者によって再生プラスチック原料にリサイクルされます。

段ボール箱は出荷用に再使用したり、クッション材との交換等、副資材についても廃棄処分せずに有効利用しています。また、ベトナム工場からの製品輸入の際には、リターナブルが可能な日本製パレットを使用することで、森林保護にも貢献しています。

使用済みの荷崩れ防止用ラップをリサイクル

今後の課題について

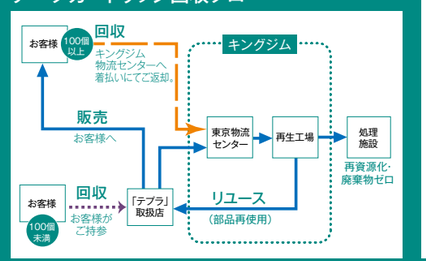
各部門による分別排出の結果、リサイクル率は高水準レベルにありますが、リサイクルの前にすべきこと、それはリデュース(発生抑制)およびリユース(再使用)です。まずは、日常何気なく排出するゴミについて、もう一度考え、行動につなげることが必要です。

回収カートリッジのリユース・リサイクル

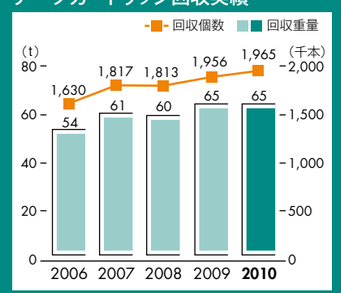
資源の有効活用のために、使用済みとなった「テプラ」用テープカートリッジを回収しています。

回収されたカートリッジを分解して部品をリユースしたり、上下ケースを粉砕後にリサイクルして再生原料にする等、環境負荷低減に寄与しています。

「テプラ」使用済みテープカートリッジ回収フロー



テープカートリッジ回収実績



海外工場における環境への取組み

キングジムの環境配慮への活動は、日本国内だけではなく、
海外生産拠点(インドネシア、マレーシア、ベトナム)においても実践しています。

キングジム・インドネシア 取締役社長
高野 真

P.T. KING JIM INDONESIA

インドネシア・東ジャワ州パスルアン県にあるP.T. KING JIM INDONESIAは、1996年、主にクリアーファイルを中心とした、化成品ファイルを生産する工場として設立しました。

クリアーファイルなどの生産工程で発生したPP(ポリプロピレン)の端材は、廃棄せず再度原材料に戻して、リサイクルに努めています。

クリアーファイル ヒクタス土

キングジム・マレーシア 取締役社長
末谷 拓哉

KING JIM(MALAYSIA) SDN.BHD.

マレーシア・ケダ州スンガイペタニ市にあるKING JIM(MALAYSIA) SDN.BHD.は、1998年、主にキングファイルの心臓部ともいえる金属とじ具の生産工場として設立しました。

金属とじ具の生産工程において発生した鉄くず(バージンコイルスクラップ)は、貴重な資源のため、現地のリサイクル業者へ引き渡し、資源のリサイクルが行われています。

キングファイルの金属とじ具

キングジム・ベトナム 取締役社長
飯島 吾郎

KING JIM(VIETNAM) Co.,Ltd.

ベトナム・ビンズン省にあるKING JIM(VIETNAM)Co.,Ltd.は、2007年、キングファイルを中心とした、事務用ファイルを生産する工場として設立しました。

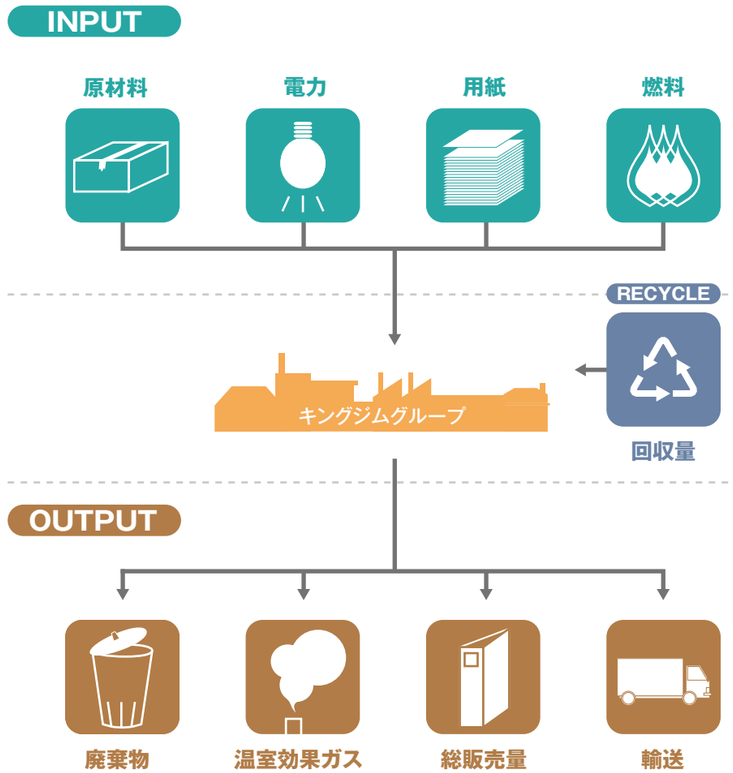
ファイルの生産工程で発生した紙や、段ボール、プラスチックといったゴミは、産業廃棄物として廃棄せず、分別して現地のリサイクル業者に引き渡し、資源の有効活用に役立てています。

キングファイル スーパードッチ

マテリアルフロー

原材料やエネルギー使用量等（インプット）、また廃棄物やGHG排出量等（アウトプット）を算出し、事業活動全体を把握することで、地球温暖化防止に向けた対策に役立てています。

2010年度マテリアルバランス



原材料
- 金属材料 ——— 3,080t
- プラスチック材料 — 3,632t
- 紙材料 ——— 7,227t
- 段ボール ——— 1,740t
- 容器包装 ——— 41t
- その他 ——— 208t
- 完成品 ——— 2,754t

電力 ——— 972万kWh
用紙 ——— 23t
燃料 ——— 4,196GJ

回収量 ——— 65t

廃棄物
- 一般廃棄物 ——— 101t
- 産業廃棄物 ——— 235t
- リサイクル量 ——— 2,128t

温室効果ガス — 3,931t-CO_2
総販売量 ——— 18,373t
輸送
- 使用燃料 ——— 13,113GJ
- 総輸送重量 ——— 31,662t
- 総輸送距離 ——— 121万km

化学物質管理

RoHS指令※1やREACH規制※2等、EUにおける化学物質に関する使用制限が急速に高まっています。それに伴い企業側は、化学物質の情報開示を求められています。キングジムでは製品の各部品について、自社で保有している蛍光X線分析器による調査を行うことで、有害化学物質の管理を行っています。

また、国内の法律であるPRTR法※3対応として、右表のようにトルエンとキシレンの2化学物質の使用量を把握しています。この物質は、厚型ファイルの製造工程に使用する接着剤に含有しているものです。

蛍光X線分析器

トルエン　単位:kg

	2005	2006	2007	2008	2009
つくば工場	704.0	680.9	655.6	552.2	74.8
松戸工場	77.0	65.3	67.4	57.8	85.8
合計	781.0	746.2	723.0	610.0	160.6

算出期間:PRTR法に基づき、毎年4月～翌年3月で算出

キシレン　単位:kg

	2005	2006	2007	2008	2009
つくば工場	706.1	686.2	661.5	557.1	74.8
松戸工場	54.6	54.1	56.2	46.6	74.6
合計	760.7	740.3	717.7	603.7	149.4

算出期間:PRTR法に基づき、毎年4月～翌年3月で算出

※1 RoHS指令：Restriction of the use of certain Hazardous Substances in electrical and electronic equipmentの略。電機電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する指令。
※2 REACH規制：欧州連合（EU）が施行する化学物質規制で、溶剤や洗剤、繊維、部品など、EUで流通する全製品に含まれる化学物質を対象に、その安全性評価を企業に義務付けた法律です。
※3 PRTR法：Pollutant Release and Transfer Registerの略。特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律。

環境配慮設計

製品の環境負荷を低減させるためには、原材料の調達から商品の廃棄に至るまで、ライフサイクル全体を見直すことが必要です。キングジムでは素材の選定や製品仕様等について、常に環境配慮設計を心がけています。

製造ステップ

再生材や環境配慮素材の使用は、資源の有効活用に貢献します。キングファイル スーパードッチ〈脱・着〉イージーの表紙芯材には、古紙パルプ配合率100%の紙管原紙を採用しています。

キングファイル スーパードッチ ＜脱・着＞イージー

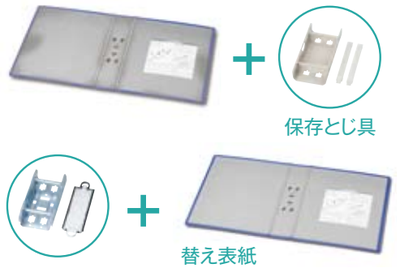
古紙を有効利用するため、厚型ファイルの表紙芯材には再生紙を使用しています。

ECOLOGY 再生紙

使用ステップ

表紙のリユース
古くなった表紙に「保存とじ具」を取り付けて、「保存用ファイル」として使用できます。

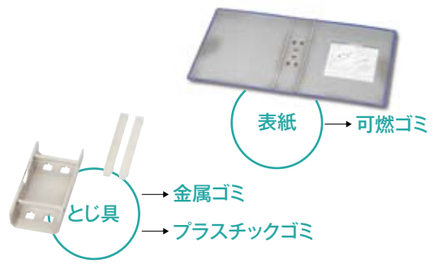
とじ具のリユース
取り外したとじ具を「替え表紙」に取り付ければ、再びキングファイル スーパードッチ〈脱・着〉イージーに生まれ変わります。



ECOLOGY リユース
ECOLOGY ロングライフ

廃棄ステップ

商品としての役目を終えた後は、表紙＝可燃ゴミ、とじ具＝金属ゴミとプラスチックゴミ、の分別廃棄が可能です。また、廃棄する各部品には有害物質が含まれていないため、安心して廃棄できます。



ECOLOGY 分別廃棄

リデュース・リユース・リサイクルの3R＋オルタナティブテクノロジー

環境配慮設計には欠かせない「REDUCE（発生抑制）・REUSE（再使用）・RECYCLE（再資源活用・再資源化）」の3R。さらに、「Alternative Technology（代替技術）」による有害物質を含まない材料の採用等、どのライフステージにおいても環境負荷を低減した商品開発および設計に取り組んでいます。

環境を意識した商品の取組み

環境意識の高まりとともに、グリーン購入が定着しています。
価格や品質に加えて「環境」に配慮した商品を提供することは、持続可能な社会の形成に寄与します。
キングジムは、これからも環境負荷の低減を目指した商品開発に取り組んでいきます。

キングファイル
スーパードッチ<脱・着>

'98
❶再使用を考慮した
「キングファイル スーパードッチ<脱・着>」発売
❷「クリアーファイル リサイクル」発売

クリアーファイル
リサイクル

'00
❸「テプラ」PROテープ
カートリッジが
エコマーク認定商品となる

❸「テプラ」PROテープ
カートリッジ

生分解ファイル

'04
❽生分解プラスチックを使用した
「生分解ファイル」発売

ハイブリッド・ファン

'08
❾オフィス環境改善グッズ
「ハイブリッド・ファン」発売

キングファイル スーパードッチ<脱・着>イージー

'09
❿分別廃棄をしやすくした
「キングファイル スーパードッチ
<脱・着>イージー」
フルラインアップ

●エコロジープロジェクト発足
●グリーン購入ネットワーク(GPN)の会員になる
●キングジム「環境憲章」制定
●環境推進室 設置
●GHG排出削減目標設定
●違法伐採問題に関する行動指針制定
●社内提案制度において、「環境」をテーマとした提案募集を開始
●物流手段に海上輸送を利用して、モーダルシフトを推進

1991 → 1992 → 1993 → 1994 → 1995 → 1996 → 1997 → 1998 → 1999 → 2000 → 2001 → 2002 → 2003 → 2004 → 2005 → 2006 → 2007 → 2008 → 2009 → 2010

保存ファイル

'91
❹「保存ファイル」が
パイプ式ファイルとして初めて
エコマーク認定商品となる

廃ガス管をリサイクルし、
ファイルの素材に。

キングファイルリサイクルPE

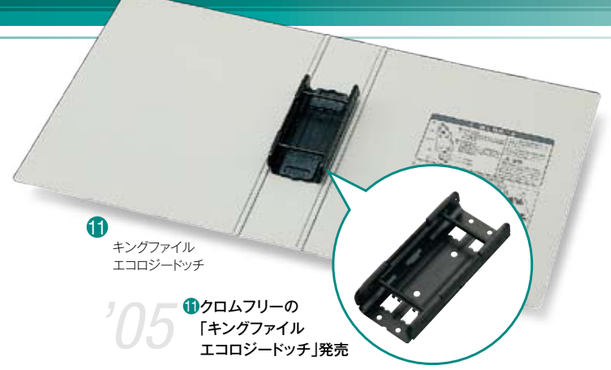
キングファイル スーパードッチ

'96
❺分別廃棄可能な
「キングファイル スーパードッチ」発売

「テプラ」PRO SR710

'01
❻再生PPを使用した
「再生透明ポケット」発売
廃ガス管から生まれた
「キングファイルリサイクルPE」発売
❼「テプラ」PROシリーズに
鉛フリーはんだを順次導入

鉛フリーはんだ


❿キングファイル
エコロジードッチ

'05
⓫クロムフリーの
「キングファイル
エコロジードッチ」発売

CO_2カルク

'10
⓮CO_2排出量をチェックできる
「CO_2カルク」発売
⓯使用している電力を測定できる
「エコキーパー」発売

図面ファイルGB

'02
⓬非木材紙を採用した
「図面ファイルGB」発売

クリアーホルダーリサイクル

'03
⓭再生PPを使用した
「クリアーホルダーリサイクル」発売

エコキーパー

ステークホルダーとともに

ステークホルダーとの相互コミュニケーションを推進

従業員・社会・株主・顧客は、企業にとってそれぞれ重要なステークホルダーです。
この章では「従業員」「社会」との関わりについてキングジムの現状をご報告し、
「株主」「顧客」については、IRと広報活動を中心にまとめています。

※「顧客に対する価値の提供」は19ページからもご覧ください。

社内での英会話研修

人材育成のための研修

キングジムでは、従業員一人ひとりがチャレンジ意欲を高めて、能力を最大限に発揮できるよう、より働きがいのある職場環境の構築を目指し、さまざまな施策に取り組んでいます。

能力開発制度

キングジムでは、自立型の人材育成を目標とした能力開発制度に基づき、研修プログラムを計画・実施しています。

2010年は、経営人材育成のための「経営戦略研修」や、上司と部下がともに人材育成できる職場風土の醸成を図り、自己革新を推進することを目的とした「組織活力育成研修」等を実施しました。さらに、ビジネスの国際化に伴い、社員の語学研修にも力を入れています。海外との取引が発生する部門の社員を中心に、レベルに応じた英会話研修を実施するとともに、2010年からは中国語会話研修も新設しました。

また、新入社員から管理職までの従業員が、いつでも何度でも自分の都合に合わせて学習できる研修システムや、eラーニングシステムなども整え、従業員の自己啓発も積極的にサポートしています。

2010年に新設した中国語会話研修の様子

従業員の状況／従業員数

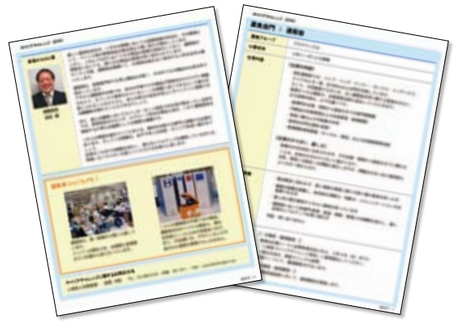
※2010年6月20日現在

年度		2006	2007	2008	2009	2010
キングジム	男性	421名	417名	409名	393名	351名
	女性	136名	125名	119名	109名	86名
グループ全体		1,091名	1,082名	1,177名	1,454名	1,715名

チャレンジできる職場環境

従業員のチャレンジ意欲の向上と能力の一層の発揮を促し、企業風土の活性化を図ることを目的として、「キャリアチャレンジ制度」と「社内ベンチャー制度」を実施しています。キャリアチャレンジ制度は、人材を募集する部門の求人情報を社内LANに公開し、意欲や能力のある従業員を広く社内から募集する制度です。選考に通過すれば、従業員は自らが取り組んでみたい仕事にチャレンジできる機会が与えられることになります。対象者は社員だけでなく、契約社員・パートタイマーまで含め、幅広く応募できる仕組みとなっています。社内ベンチャー制度は、当社の理念や企業ドメインの範囲内で、新たな起業の事業企画を広く全社より募集しています。本人の主体性により自由に応募することができますが、審査では独自性・新規性・収益採算性などが求められます。

また、本制度以外にも、若手社員を中心とした選抜メンバーによる新規事業を企画するプロジェクトを立ち上げるなど、社員の起業意識や経営参画意識の向上にも努めています。



キャリアチャレンジ制度の求人情報は社内LANで公開しています。

社内ブログ

キングジムでは、社内コミュニケーションの活性化を目的とした「キングジム社内ブログ」を実施しています。社長ブログをはじめ、各部門のグループブログや、当社情報の最新ニュースクリッピングなど、社内間で多岐にわたる話題が提供できます。

また、社員個人でブログを作成することも可能で、日常業務の内容に留まらず、プライベートの情報も発信することで、部門を越えたコミュニケーションに貢献しています。

働きやすい職場環境の実現

安全で安心して働ける職場環境は、すべての事業の基本となる重要な要素です。キングジムでは、従業員の安全衛生管理に努めるとともに、自由闊達に意見具申のできる環境を実現しています。

安全衛生

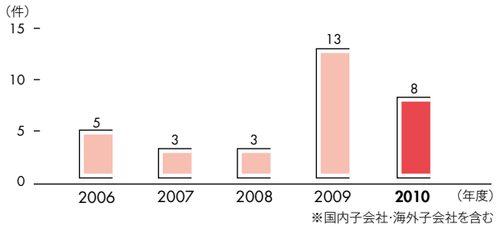
職場の安全·衛生面に配慮した労働環境を提供するために、安全衛生委員会が中心となって、労働災害の防止や従業員の健康維持のために取り組んでいます。

2010年度の休業に至る労働災害の発生件数は8件で、前年に比べて5件減少いたしました。発生した事業所はいずれも海外の生産子会社であり、キングジム·インドネシアで1件、キングジム·ベトナムで7件となっています。

特に発生件数の多かったキングジム·ベトナムでは、労働災害防止のための対策として、従業員への安全教育を強化しています。具体的には、マネージャークラスの従業員を現地行政が主催する安全教育に参加させるとともに、参加者が講師役となり、全従業員に対して安全教育を実施しています。また、事業所内に「整理·整頓·清掃·清潔·躾」の「5S活動」を、現地語に翻訳して掲示し徹底を図ることにより、従業員の安全衛生に対する意識向上に努めています。

当社では今後も、国内のみならず、海外生産子会社を含めたグループ全体での労働災害ゼロを目標として、防止活動の推進を強化していきます。

休業に至る労働災害発生件数



※国内子会社·海外子会社を含む

自由闊達な
職場環境づくりを
目指します。

人事部長
古野 康弘

自己申告制度

自己申告制度は、希望する職務や勤務場所、職場での課題、事業方針や部門運営、人事諸制度の改定についてなど、従業員の率直な意見を、経営トップに対して直接伝えることができる制度です。対象者は、キングジムおよび国内のキングジムグループに勤務する全従業員とし、社員だけでなく派遣社員、嘱託社員、パートタイマーからも幅広く意見を聞いています。

健康づくり制度

従業員の健康づくり、病気の予防と早期発見のため、健康保険組合と連携し健康管理を進めています。メタボリックシンドローム予防のための特定健診、特定保健指導が実施されており、従業員の健康管理について個人への保健指導や栄養診断等を行っています。また、インフルエンザ予防のために予防接種の実施を推奨しています。予防接種を受けた場合には、健康保険組合から費用の補助制度があります。

裁判員制度への対応

キングジムでは、裁判員制度の実施に伴い、社会的責任の一環として従業員が安心してその責務を果たすことができる環境を整えるため、裁判員制度休暇細則を定めています。従業員が、裁判員候補者·裁判員·補充裁判員に選出されて公務を行う際に、必要な日数について特別休暇が付与されます。この細則は、嘱託社員·パートタイマーにも適用されます。

セクハラ相談窓口

セクハラ防止への対応は、「セクシュアルハラスメントの防止に関する細則」に明確に定められており、社内にセクシュアルハラスメント相談窓口を設置しています。相談窓口では、女性と男性の相談員を配置し、相談者のプライバシーに十分配慮しながら、必要な措置を講じます。また、相談窓口とは別に、コンプライアンスプログラムに基づく担当弁護士によるスピークアウト制度も併設しています。

いきいきと働ける職場づくり

新たな価値を創造するためには、異なる価値観を持つ人々が、お互いに尊重しあうことが不可欠です。キングジムでは、ダイバーシティの推進やワークライフバランスの実現により、社員がいきいきと働ける職場づくりを進めています。

従業員の多様性の尊重

キングジムでは、多様な価値観を尊重し、性別·国籍·人種·宗教·障がいなどにとらわれず、各人が働きがいを持ってその能力の発揮ができるよう、職場環境の整備に取り組んでいます。新入社員の採用においては、男女の割合をできるだけ同じようにするよう努め、男女差が無い採用活動を行っています。また、人事制度にはグループ転換制度があり、意欲のある従業員は審査を経てグループ転換することにより、やりがいのある仕事を担当し活躍することができます。今後も多様な価値観を尊重するため、人事面の施策や職場風土の改革などを推進します。

障がい者雇用

キングジムでは、障がい者の雇用に継続的に取り組んでおり、2010年の障がい者雇用率は2.07%となりました。法定雇用率である1.80%や、全民間企業の平均雇用率を上回る雇用率を維持しています。当社では、障がいを持つ従業員も健常者と同じ職場で、さまざまな業務に従事しています。今後も、障がいの有無にかかわらず活躍の場を広げ、能力を発揮できる会社を目指しています。

ワークライフバランスへの取組み

キングジムでは、従業員がいきいきと仕事に取り組み、充実した家庭生活を送るための職場環境づくりに努めており、社員の多様な就業ニーズに応える支援体制を整えています。育児休業期間については、育児休業取得者の意見を参考にし、保育園の入園時期を配慮した時期まで延長するなど、安心して働ける環境づくりを目指しています。また、業務の都合に合わせて、勤務時間を自ら変更できる「時差勤務制度」を新たに導入し、フレキシブルな労働時間管理ができるように環境整備を行っています。

育児·介護支援制度

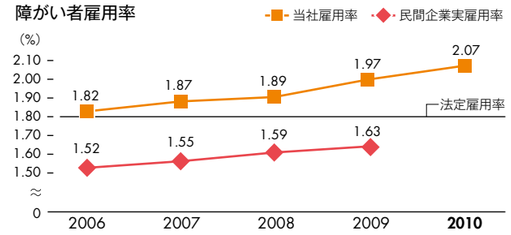
制度	内容
産前産後休暇	産前6週間、産後8週間 (多胎妊娠の場合は、産前14週間、産後8週間)
特別休暇	配偶者の出産のための特別休暇(4日付与)
子の看護休暇	就学前の子の負傷·疾病による看護のための休業 (年間5日まで)
育児休業	出産後、子が満1歳に達する日までの育児のための休業 (ただし、最長1年6カ月まで、または、1歳に到達した後の4月15日まで延長が可能)
介護休業	要介護家族1名につき通算93日までの休業
育児短時間勤務	1日の労働時間を1.5時間まで短縮可能
介護短時間勤務	1日の労働時間を2時間まで短縮可能

海外事務所からの異動

香港駐在員事務所から、一般文具開発部に異動となり、今年の4月から日本で勤務しています。新しい仕事が多いので戸惑うこともありますが、分からないことは上司や同僚が丁寧に教えてくれるので助かっています。プライベートでも仲良くしてもらい、毎日楽しく仕事に取り組んでいます。

一般文具開発部 **陳 嘉儀**

障がい者雇用率



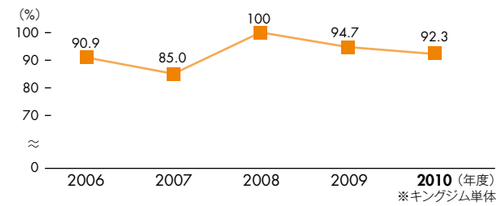
育児休業後の復職

子どもが11カ月の時に仕事復帰し、現在は育児短時間勤務をしています。職場の方々には、子どものことも配慮していただき、大変感謝しています。

保育園でいろいろなことを覚え、日々たくましく成長している子どもの姿を見て、私もたくさんパワーをもらって頑張っています。

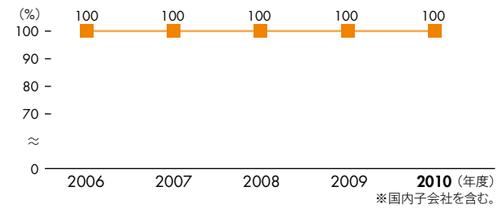
経営企画部 **波多野 里美**

配偶者の出産のための特別休暇取得率



※キングジム単体

育児休業取得率(女性)



※国内子会社を含む。

社会貢献活動の推進

キングジムグループでは、自社商品を使った教育支援や、障がい者支援など、さまざまな分野で社会貢献活動に取り組んでいます。

❶点字の由来と点字「テプラ」の使い方を説明、❷❸点字付き名前ラベルの作成、❹学校内で表示する点字ラベルの作成

点字体験授業

キングジムでは、小学生と高校生を対象に、自社製品である点字「テプラ」を活用した点字体験授業を毎年実施しています。

2010年は、東京都千代田区立昌平小学校の4年生と、東京都立一橋高等学校の3年生を対象とした点字体験授業を実施しました。昌平小学校の授業では、キングジムの社員から点字の歴史や点字表記の仕組みを説明した後、実際に点字「テプラ」を使用して、点字と印刷文字入りのラベルを作成しました。

点字体験授業は、点字初心者でも簡単に点字翻訳できるキングジムの《点字「テプラ」》を活用し、点字をより身近に感じてもらうことを目的としています。

キングジムでは、今後とも、このような自社製品を活用した社会貢献活動を継続していきたいと考えています。

点字「テプラ」PRO SR6700D
点字の知識がない方でも、簡単に点字ラベルを作成することができる「テプラ」です。

屋上➡

国際社会とともに

インドネシア、マレーシア、ベトナムの3カ国に生産拠点を構えるキングジムにとって、国際社会との結びつきも重要となっており、現地社会と協調するための活動を積極的に行っています。

KING JIM（VIETNAM）Co.,Ltd.では、毎年、学生のインターンを受け入れ、業務の実地研修を行っています。

また、KING JIM（MALAYSIA）SDN.BHD.では、地域の社会貢献の一環として、現地の身体障がい者支援グループへとじ具生産の一部を委託し、職業訓練の支援に協力しています。

障がい者との協働

2009年度より、千葉県松戸市にある障がい者施設「ふくし館ぱれっと」に業務委託を行っています。

業務委託内容は、主に複合材処理の際に、素材ごとに分別解体をするリサイクル業務です。今までは産業廃棄物として処分せざるを得なかったものがリサイクルできるようになり、環境負荷低減にご協力をいただいています。

TEPIAの展示

「先端技術館@TEPIA（機械産業記念事業財団）」の平成22年度展示に、点字「テプラ」とファイリング・naviが選定されました。この施設は、『ハイテクが拓く“夢・みらい”』を今年度のテーマに日本の“ものづくり”を中心にアピールする先端技術と製品を展示しています。

入場料無料。（展示期間は2010年4月6日から2011年2月27日まで）
東京都港区北青山2丁目8番44号　http://www.tepia.jp/

上 点字「テプラ」／ヘルスケアと福祉機器コーナー
左 ファイリング・navi ／ ICTコーナー

「エコキャップ運動」への参加

キングジムは、2009年10月より「エコキャップ運動」に参加しています。この運動は、ペットボトルのキャップを分別収集し、再資源化業者へ売却することによりCO_2の発生抑制に寄与できると同時に、キャップの売却益で世界の子どもたちにワクチンを届けるというものです。2010年7月現在23,200個（182.7kg分のCO_2削減、ワクチン約29名分）をNPO法人エコキャップ推進協会へ送付しました。キングジムでは、今後もこの活動を続けていく予定です。

教育支援・環境保護

教育支援活動として、高円宮杯全日本中学校英語弁論大会に、協賛企業として2004年より継続的に支援を続けています。また、環境保護活動の一環としては、1992年より日本野鳥の会、1993年よりWWFジャパンの法人会員となり、協賛を続けています。

インターンシップ

キングジムでは、大学生の夏休み期間を利用して、インターンを継続的に受け入れています。2010年度も、2週にわたって4名の大学生を受け入れ、それぞれ経営企画部・人事部・広報部に分かれて就業体験をしていただきました。

会社訪問

学校教育の職業教育やフィールドワークの一環として、会社訪問の受け入れを2006年より行っています。プログラムには、社内のフロア見学や、生徒の皆さんとキングジムの社員が直接対話できる質疑応答の時間を設けています。2010年は東京都立一橋高等学校の皆さんが会社訪問をされました。

株主

企業価値の持続的向上のため、IR情報の開示を積極的かつ迅速に実施するとともに、株主・投資家の皆様からの信頼にお応えできるよう努めています。

株主総会

年1回の定時株主総会では、「開かれた株主総会」を目指して、理解しやすさを意図したビジュアル化を推進しています。2009年9月の「第61回定時株主総会」では、株主約250名様が出席。活発な質疑応答がなされました。総会後の「懇親会」では、役員との懇談の場を設け、より一層のコミュニケーションに努めていきます。

定時株主総会

IR活動

決算説明会を年2回、アナリスト・経済記者などを対象に実施しています。2009年8月に「期末」、2010年3月に「第二四半期」の説明会を実施。代表取締役社長による決算内容や経営課題の説明を行い、ご出席の皆様に、当社経営に対する理解を深めていただいています。

決算説明会

顧客

顧客の皆様に経営姿勢や企業の方向性をご理解いただけるよう、積極的な広報活動を展開しています。

広報活動

対外広報活動として、1年間（2009年5月1日～2010年4月30日）にIR関連18本、製品関連57本、合計75本のニュースリリース（記者向けの情報ペーパー）をメディアに発表。ホームページでも公開しています。

事実を重視し、虚飾情報を排して積極的に情報開示する姿勢によって、皆様に信頼される広報活動を積み重ねています。

記者発表会でのテレビ取材

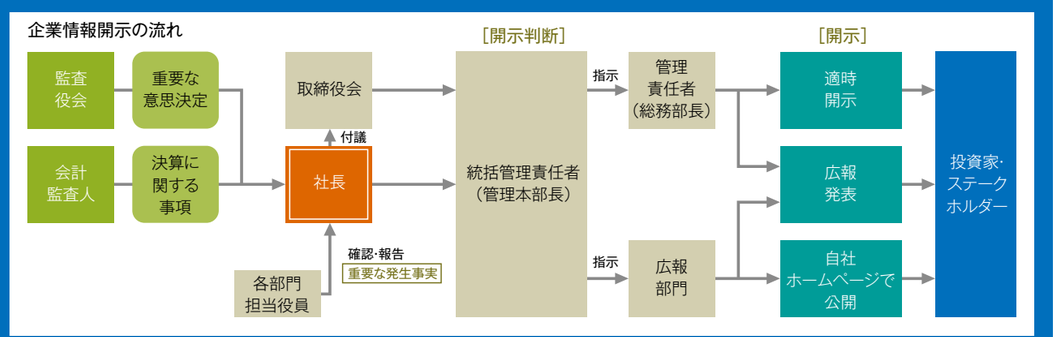
ニュースリリース

キングジム関連報道件数　（2009年5月21日～2010年5月20日実績）

メディアの種類	テレビ	新聞	雑誌	ネット（ニュースサイト）	合計
掲出・放映件数	45件	604件	301件	924件	1,874件

広告宣伝活動

広告宣伝活動では、お客様に対して商品の特性についてより分かりやすく、共感を得られる表現を目指しています。宣伝活動に使用する媒体は、広く社会に受け入れられ、認知されているメディアを、コスト効率なども勘案しつつ、選定しています。



マネジメント

コンプライアンス体制の確立

キングジムは、経営理念、行動指針、ならびに最上位規程として位置づけられたコンプライアンスプログラムにより、役員および従業員が自らを律し、法令遵守はもとより、企業理念の実践に努めています。

コンプライアンスプログラム

私たちキングジムグループのすべての企業行動は、コンプライアンスに根付いたものでなければならない。

- **私たちキングジムグループの一員は、企業倫理や法律に反した行動をとりません。万一、企業倫理や法律に反する行為、または疑わしい行動を知った場合は、コンプライアンスの体制に則って、適切な対応をとります。**
- **私たちキングジムグループの一員は、合法的でかつ清廉な行動をとります。**
- **私たちキングジムグループの一員は、コンプライアンスの精神に反する不当な利益追求を行いません。**

〈コンプライアンスの指針〉

■ 環境の保全
私たちキングジムグループの一員は、環境配慮活動に積極的に取り組み、地球規模での環境負荷の軽減に努めます。

■ 贈収賄などの禁止
私たちキングジムグループの一員は、社外とのクリーンな関係を保ちつづけ、贈収賄など、キングジムブランドを汚す行為は行いません。

■ 良好な国際取引関係の形成
私たちキングジムグループの一員は、海外との取引にあたっては、関係法令を遵守すると共に、その文化や慣習を尊重し、良好な国際取引関係を形成します。

■ 反社会的勢力との対決
私たちキングジムグループの一員は、暴力団などの反社会的勢力・団体とは、一切の関わりを持ちません。また、不当な要求には一切応じません。

■ 独占禁止法の遵守
私たちキングジムグループの一員は、独占禁止法やその関係法令（景表法、下請法等）を遵守し、公正で、自由かつ透明な競争を行います。

■ 知的財産の尊重
私たちキングジムグループの一員は、キングジムグループの知的財産権を尊重すると共に、他人の権利を尊重します。

■ 不正競争の防止
私たちキングジムグループの一員は、不正競争防止法を遵守します。また、その精神に則り、オリジナリティーを尊重した商品開発を心がけると共に、常に業界のトップブランドであり続けます。

■ 基本的人権の尊重
私たちキングジムグループの一員は、基本的人権を擁護し、人を人として尊重すると共に、個人の尊厳を傷つけるような行為は行いません。

■ 労働関係法令の遵守
私たちキングジムグループの一員は、労働関係法令を遵守し、快適で安全な労働環境の維持・向上に努めます。

■ ハラスメントの禁止
私たちキングジムグループの一員は、いかなるハラスメントも行いません。

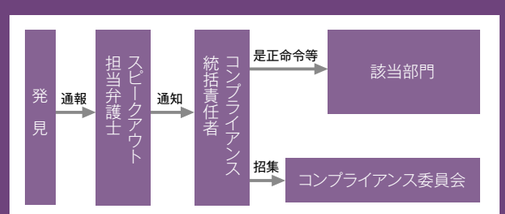
■ インサイダー取引の禁止
私たちキングジムグループの一員は、インサイダー取引を行いません。

■ 秘密情報の適切管理
私たちキングジムグループの一員は、営業秘密、ノウハウ、個人情報などの秘密情報を適切に管理します。私たちキングジムグループの一員は、これらを不正に使用したり、第三者に漏洩することは致しません。

内部通報制度

—— 健全な企業活動の確保に向けた当社のスピークアウト制度（ヘルプライン）の整備について

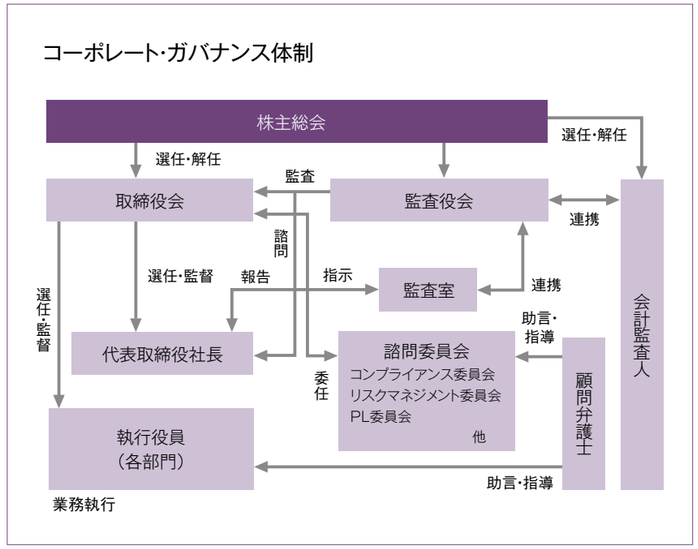
上記のコンプライアンスプログラムの実効性を確保するために、当社ではスピークアウト制度（ヘルプライン）を整備しています。右図のプロセスを経て、万一、コンプライアンス上問題となるおそれのある企業活動が生じた場合に、これを未然に防止する体制を確保しています。



コーポレート・ガバナンス

コーポレート･ガバナンス

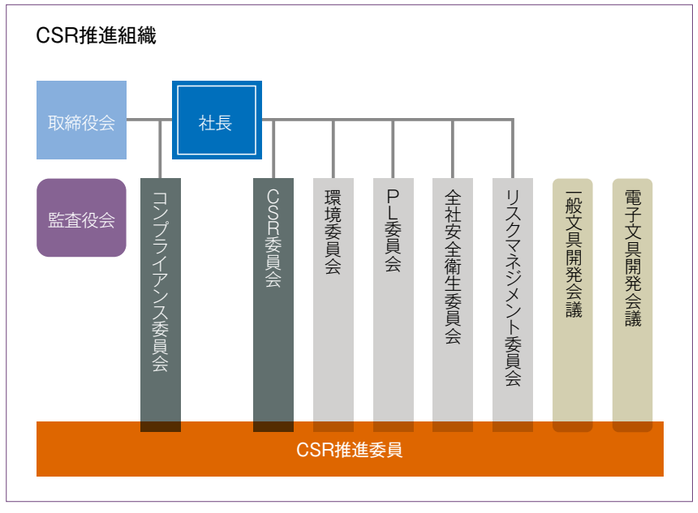
キングジムは、監査役設置会社を選択しており、コーポレート･ガバナンスの充実に努めています。取締役会は、原則月1回開催し、経営方針、事業計画、組織その他取締役会規程に基づく案件等に関し、出席役員による十分な論議により審議しています。監査役は常勤監査役1名、非常勤監査役4名から構成され、原則月1回監査役会を開催しています。監査役は取締役会に出席し、意見の陳述を行うほか、取締役会の運営、決議、審議の方法などの監視をしています。また、当社は、執行役員制度を採用しており、各執行役員が担当部門の業務執行責任者として、当該部門の業務を迅速、的確に執行しています。



CSRマネジメント体制

キングジムのCSR活動は、弊社行動指針にあるように、各ステークホルダー（顧客、社員、株主、社会）に対して果たすべき役割を明確にして、早くから取り組んできましたが、社員一人ひとりの意識をより一層高め、CSRマネジメント体制を確立するため、2006年8月に「CSR委員会」を発足しました。

CSR委員会は、CSRの各テーマに関係の深い部署や専門委員会からメンバーを選出した、部門横断的な組織で成り立っており、年数回の会合で、新しい具体的な取組みテーマの検討や、CSRレポートの編纂などを行っています。



第三者コメント

～ キングジムCSRレポート･会社案内2010を読んで ～

キングジムグループのCSRレポートも5年目となり、会社案内と統合されてから、さらに活動の全体像が読者に伝わる内容となりました。海外拠点も含めたグループ全体での多岐にわたる活動や、商品から見るCSR、そして「独創的な商品によって社会に貢献したい」姿勢が随所に溢れています。

まず、特集で「キングファイル」を例に開発から製造･物流･ユーザーサポートまで工程に沿った形でCSRの具体的な紹介があり、ベトナムの製造拠点での取り組みを中心に、とても解りやすくまとめられています。例えば4つのMの管理方法、従業員の雇用面や労働環境への配慮、リターナブルパレットへの切り替えによる環境面やコスト削減など、特に海外だからこそ注意しなくてはならない点も含めて取り組まれています。

それから新たなヒット商品として知られる「ポメラ」を筆頭に、誕生までのドラマと開発者の想いが紹介されていますが、各箇所で従業員の方々が登場されており、商品もより多様なラインナップへと進化させつつ、社会に貢献したいという理念が社員全体の意識へと浸透していると言えるでしょう。

商品も紙から電子媒体への広がりが見られますが、省電力化など環境配慮型製品の開発と生産･販売･物流･廃棄に至るまでの取り組みも誠実に報告されています。また、教育とコミュニケーションを大切にされ、社内研修の充実や情報活用のセミナー等の機会を提供することにより、各担当者が様々な可能性を多角的に検証しながら、「新たな文化の創造」のために何が必要なのかを模索し実現させてきたことが読み取れます。

また、環境面ではキングジム環境マークによる識別、海外工場での取り組み、温暖化防止ではGHG（温室効果ガス）排出削減目標を大きく上回る達成率など、評価できる報告がなされています。さらにこの素晴らしい姿勢と取り組みを今後の活動に繋げるためにも、毎年算出しているマテリアルフローでの数値や環境会計など、数値の変化を基にどのような対応策や取り組むべき目標を掲げたのか、その達成状況も経年比較と合わせて報告されると数値が何を示しているのかが読者にも伝わるのではないでしょうか。

それから、再生紙とバージンパルプの割合による環境配慮の開示方法の工夫、さらにバージン原料など再生素材以外の資源を使用する場合の、自然への環境負荷や生物多様性との関係など、配慮すべき方向性を広げることで、本業でのCSRに深みが増すことでしょう。

従業員に対しては、性別や国籍を問わず多様な価値観を尊重されており、例年に続き障がい者雇用率も高く素晴らしいと思います。ワークライフバランスへの取り組みでは、女性が働きやすい職場づくりはなされていると思いますが、出産･育児に関しては男性の特別休暇や育児休業の取得についても把握と対策の方向性が見られればと感じました。また安全衛生の面で、休業に至る労働災害発生件数は昨年より件数としては減ったものの、その原因は何かを十分に把握し対策することが求められます。

全体を通じて、環境や社会面への配慮が十分になされてきたことは言うまでもありません。しかし、既に生産拠点が海外にもあることからも、原料調達時から製造における環境面、従業員や拠点を取り巻く社会面も含めて、調達方針やキングジムグループとして軸となる指針がさらに必要になるかもしれません。特にキングジム製品の国際的なニーズが拡大し、活動がさらに世界へと広がり発展していくことは、企業としての喜びと共に社会へ与える影響も大きいと言えます。これから5年後10年後、そしてその先にある地球の未来を見つめながら、どのような取り組みが必要となり対策していくのかを示すことで、すばらしいキングジムグループの歴史を未来へと繋げる橋渡しに、このCSRレポート･会社案内が活かされていくことを期待しています。

山口 真奈美
Manami Yamaguchi

株式会社FEM 代表取締役
株式会社Control Union Japan 代表取締役
環境･CSR･認証に関する研究･評価･教育及び関連活動を行う。
Control Union（本部オランダ）は50カ国以上で展開する国際的な認証機関であり、オーガニックの農業や繊維、その他森林やフェアトレードなど分野は多岐に亘る。
環境ビジネス総合研究所理事長。他NPO理事等を兼任。
http://www.f-em.jp/　http://controlunion.jp/

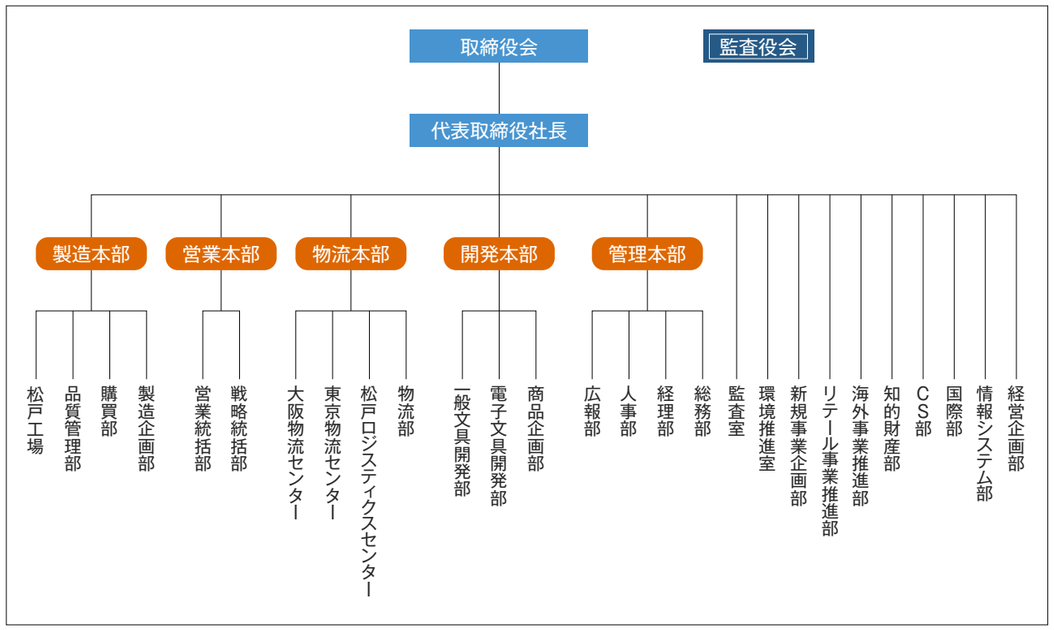
企業データ編

役員体制（2010年9月現在）

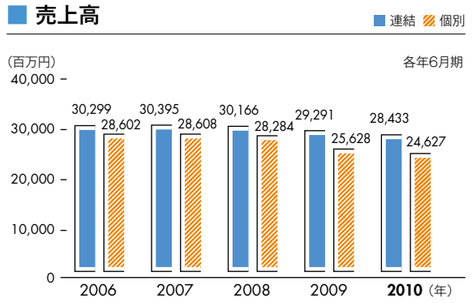
代表取締役社長	宮本 彰
＊専務取締役	吉岡 隆昭
＊常務取締役	宮本 英晴
＊常務取締役	橋本 博之
＊常務取締役	横田 英人
＊常務取締役	表 匡聡
＊常務取締役	市村 憲治
＊取締役	西尾 保
＊取締役	萩田 直道
常勤監査役	清水 和人
監査役	印南 一路
社外監査役	田中 誠
社外監査役	遠山 勉
社外監査役	谷内 篤博
執行役員	伊藤 和敏
執行役員	宮川 眞治
執行役員	白樫 義春
執行役員	高堀 博之

＊印は執行役員を兼務しています

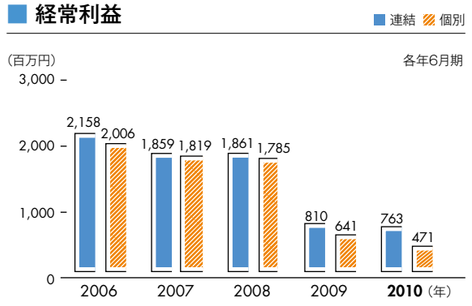
組織構成（2010年9月以降の体制）



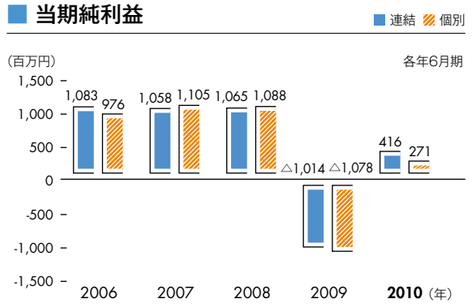
売上高



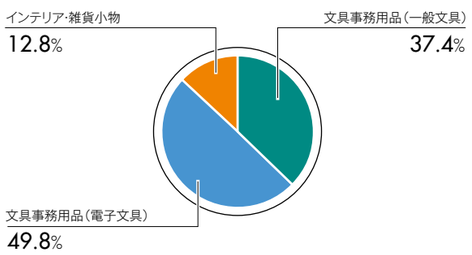
経常利益



当期純利益



売上構成比



沿革

1927年	創業者・宮本英太郎が「特許人名簿」、「印鑑簿」を発売。
1947年	ルーズリーフ、バインダー、各種ファイル類を生産発売。
1948年	「株式会社名鑑堂」を設立。
1953年	大阪支店を開設。
1961年	社名を「株式会社キングジム」に改称。名古屋支店を開設。
1964年	「キングファイルG」を発売。
	松戸工場操業開始。
1967年	宮本健三が社長に就任。
1981年	福岡支店を開設。
1982年	宮本浩三が社長に就任。
1984年	東京物流センターを開設。
1987年	東京店頭市場に株式を登録。
1988年	ラベルライター「テプラ」を発売。
1992年	宮本彰が社長に就任。
1993年	「キングファイルG」累計販売冊数1億冊、「テプラ」累計販売台数100万台を突破。
1996年	P.T.KING JIM INDONESIAを設立。
1998年	KING JIM(MALAYSIA)SDN.BHD.を設立。
	環境憲章制定。
2001年	東京証券取引所市場第二部に上場。
	長島商事株式会社（現:ラドンナ）をグループ会社化。
2002年	中国に上海錦宮牧野国際貿易有限公司（現:錦宮（上海）貿易有限公司）を設立。
	松戸ロジスティクスセンターを開設。
	株式会社合同（現:Gクラッセ）をグループ会社化。
2005年	点字もできる「テプラ」発売。
	東京証券取引所市場第一部に指定。
2006年	CSR報告書を発行。
2007年	KING JIM（VIETNAM）Co.,Ltd.を設立。
2008年	株式会社アスカ商会をグループ会社化。
	デジタルメモ「ポメラ」を発売。
2009年	株式会社アスカ商会が東京ショールームを開設。
2010年	「Toffy SHIODOME」をオープン。
	「アカデミーラウンジ」をオープン。